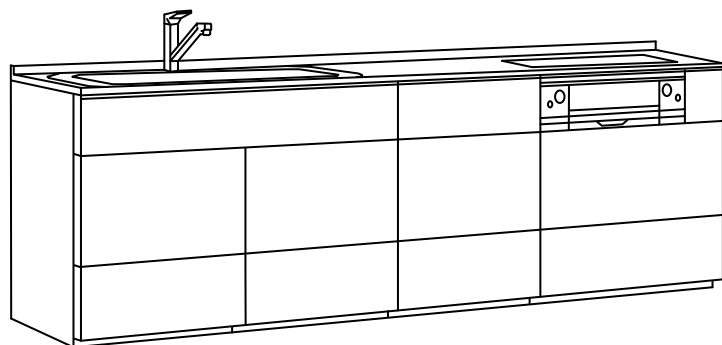
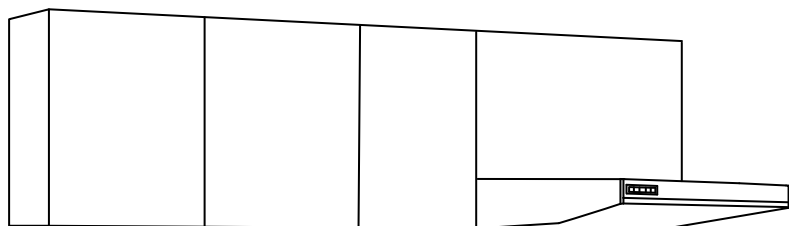


# Takara standard

## 奥行60cmホーローシステムキッチン 設置説明書

### Treasia トレシア



#### もくじ



設置される方へのお願い.....	1
安全上のご注意.....	2
基本工事区分について .....	4
システムキッチン 工事区分.....	5
設置前のご確認.....	5
設置方法.....	6
1. 吊戸棚・レンジフードの取付 .....	6
2. エンドカバーの取付 .....	6
3. 間口調整フィラー・見切り対応フィラーの取付 ...	10
4. ベースキャビネット設置前の準備作業.....	10
5. ベースキャビネットの設置 .....	14
6. 水栓の取付け .....	18
7. ワークトップの設置 .....	19
8. 加熱機器の設置.....	24
9. 食器洗い乾燥機の設置.....	25
10. 配管蓋・点検口蓋の穴加工.....	27
11. 排水部品の取付 .....	29
12. 排水管の接続 .....	31
13. 給水・給湯管と水栓の接続.....	31
14. エンドパネルの取付 .....	32
15. 台輪カバーの取付 (台輪カバーを取付ける場合のみ) ..	35
16. その他部品の取付.....	38
17. 扉の調整 .....	39
仕上げ .....	42
コーキング処理 .....	42
清掃.....	44
安全点検および試運転 .....	45
安全点検 .....	45
組込機器の試運転 .....	45
お願い事項.....	46
商品の養生 .....	46
取扱説明書の保管・引渡し .....	46
梱包材その他設置部材の処理.....	46

### 設置される方へのお願い



- ◆キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- ◆本説明書は、ワークトップおよびフロアキャビネットのものです。その他のキャビネットやビルトイン機器および水栓金具については、それぞれに添付する設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- ◆設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- ◆本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。







設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。



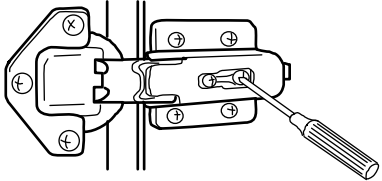

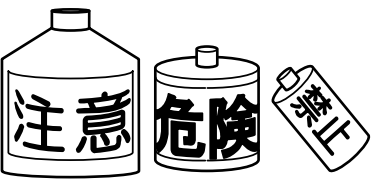
- 表示内容を無視して誤った設置作業をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。




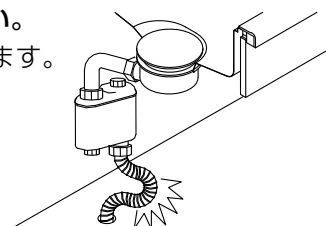


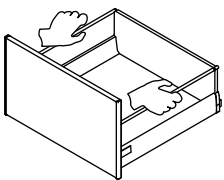
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

 <b>警告</b>	
	ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。 手袋をしないで切断面に触ると、けがをするおそれがあります。
	電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。 接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。
	説明書に記載されている内容以外で、製品の分解、現場加工や改造はしないでください。 キャビネットや扉、引出が落下してけがをするおそれがあります。
	事前工事の取付枠は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。 キャビネットが落下してけがをするおそれがあります。
	ネジで固定する場合は、締めすぎによる空転や、頭つぶれがないようにしてください。 キャビネットや扉、引出が落下してけがをするおそれがあります。

 <b>注意</b>	
	<p>設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・ 丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。 扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをする おそれがあります。</p> 
	<p>設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、 それぞれの注意表示にしたがって、正しくお使いください。 誤った使い方をすると、人体に影響がでたり使用部材の 損傷や劣化の原因となるおそれがあります。</p> 

**⚠ 注意**

	排水器具・排水ホースの取付けおよび接続部分のシールは確実に行ってください。 取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。
	包丁差しを取付ける時は、ネジのゆるみや浮きのないように、正しく取付けてください。 取付方法を誤ると、使用中に包丁差しがはずれてけがをするおそれがあります。
	排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。 排水能力が低下して、シンクから水があふれ床を汚すおそれがあります。 
	キッチンに組込まれる電気製品・調理機器・レンジフード・および水栓金具等は、それぞれの設置説明書・製品本体の表示事項を守り正しく設置してください。 設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。
	引出を持ち運ぶ時は、ギャラリーレール部分を持たないでください。 ギャラリーがはずれて引出が落下してけがをするおそれがあります。 

**お願い**

設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールをひく等の養生を施し、キズがつかないように十分注意してください。

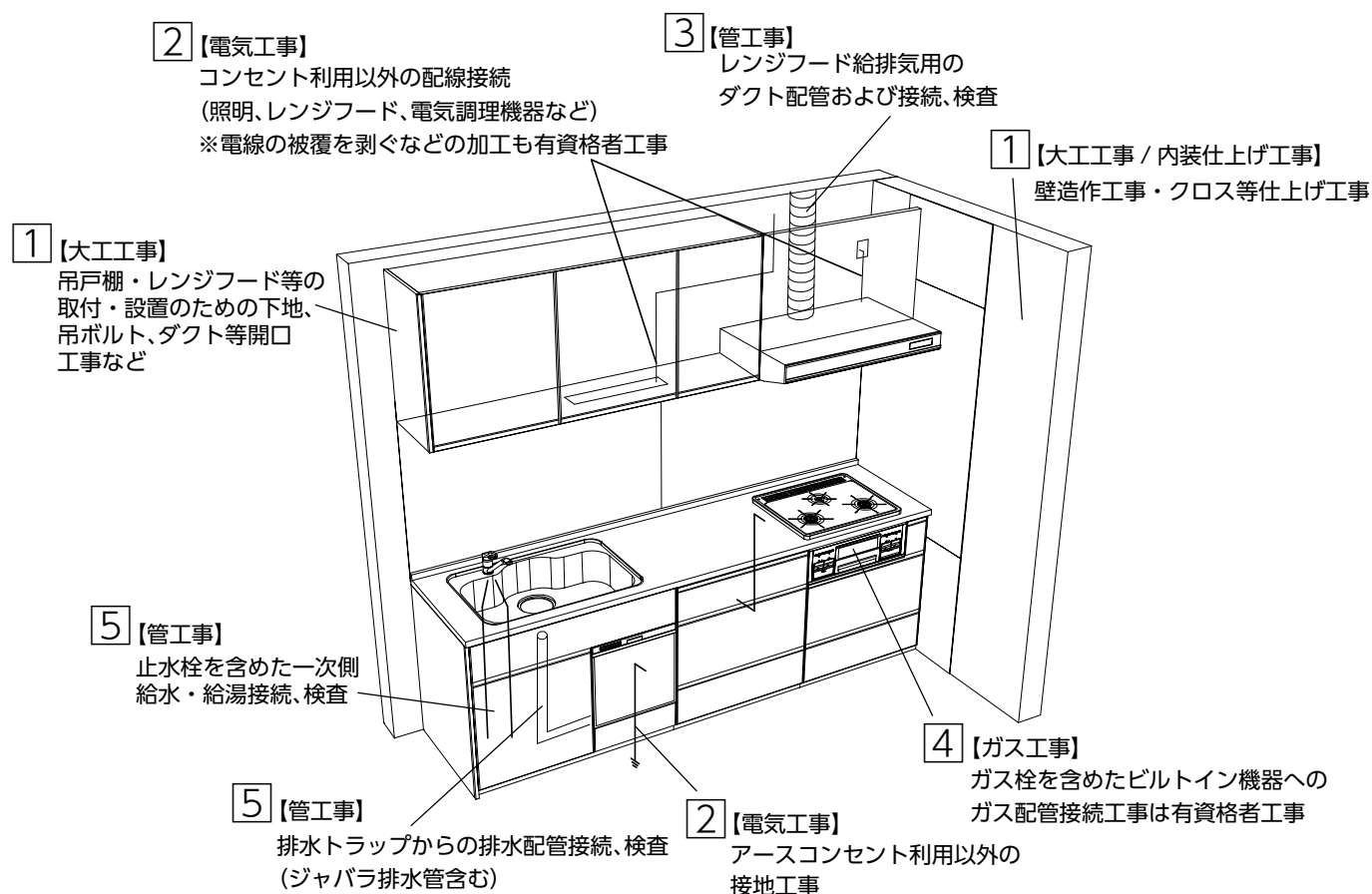
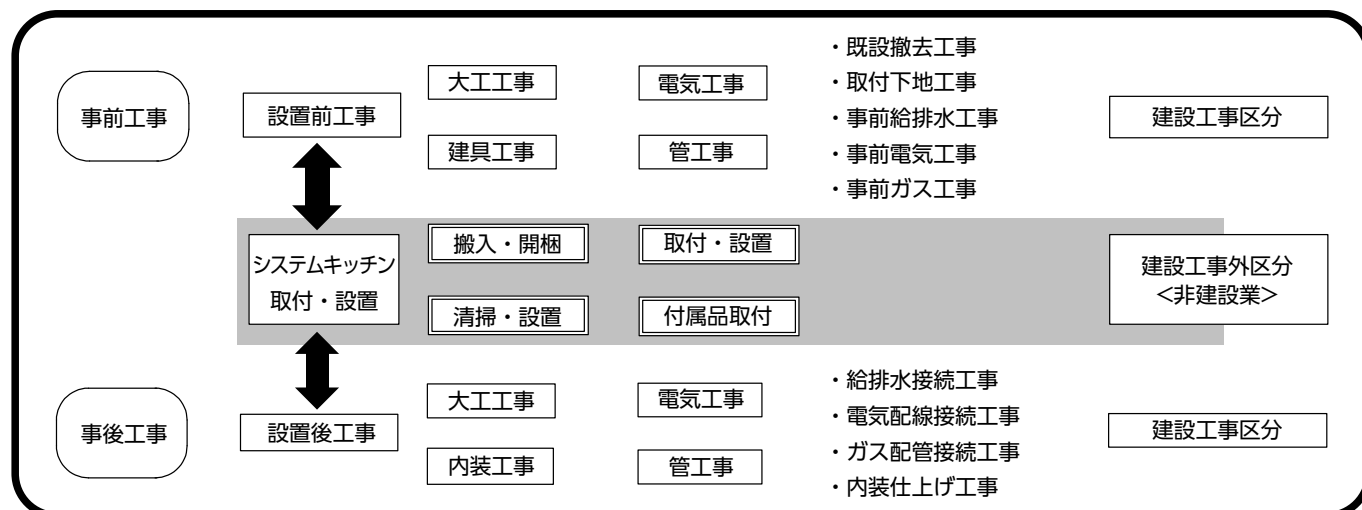
設置作業中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

汚れを取る場合は水ぶきまたは中性洗剤をご使用ください。

溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。

# 基本工事区分について

- 本説明書は、キッチンの本体組立・設置と関連工事（建設工事）である 大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）などと区別して説明しています。
- 建設工事は関連する法令・規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。
- 流通業者様からの発注で下請けとして本体の「取付・設置」を行う場合は、建設工事部分とキッチン本体「取付・設置」を区分して行ってください。
- 設置前工事、設置後工事の一部でも含む場合は、建設工事となります。



## システムキッチン 工事区分

参考：キッチン・バス工業会『工事区分ガイドライン』

工事区分	部位(図)	業種区分	作業名称(区分)	建設工事			建設工事外			作業内容
				大工工事	管工事	電気工事	設備設置	ガス機器	取付	
設置前工事	① ③	大工 管	外壁の開口工事	○	○					レンジフードのダクト用の建築壁の穴あけ工事
			建築壁の下地処理工事	○						ウォールキャビネット等の取付のための下地処理工事
			幕板取付壁下地処理工事	○						天井・壁等の幕板等取付のための下地処理工事
			アンカー、吊ボルト工事	○						吊戸棚、レンジフード等のアンカー、吊ボルト工事
			換気機器用ダクトの関連工事		○	○				建築物の事前ダクト配管等の工事
			キッチンパネル下地処理工事	○						キッチンパネルを貼るための建築壁の下地処理工事
	②	電気	レンジフードの電気工事			○				建築の屋内配線と配線器具(コンセント)工事
			IH調理機器の電気工事			○				IH調理機器専用の200Vの事前電気工事
			ウォールキャビネット部分の電気工事			○				照明器具等の電気工事
			電動昇降吊戸棚の電気工事			○				電動昇降吊戸棚の専用電源・アース工事
			食器洗い乾燥機の電源・アース工事			○				食器洗い乾燥機の専用電源・アース工事
	④	ガス	ガス調理機器のガス配管工事		○					ガス調理機器用の事前ガス配管工事
	⑤	管	排水配管の立上げ工事		○					キッチン排水用の所定位置への排水配管立上げ工事
			給水・給湯配管の立上げ工事		○					キッチン専用の所定位置への給水給湯配管立上げ工事
			食器洗い乾燥機の給排水配管工事		○					食器洗い乾燥機用の専用給水(給湯)・排水配管事前工事
システムキッチン本体取付設置		建設工事外区分	キッチンパネルの取付【注記 1】						□	製品を加工して建築下地へ取付
			製品間のシリコン充填【注記 2】						□	製品間の隙間を仕上げる処理作業
			レンジフードの取付【注記 1】						□	本体及び化粧パネルを取付ける作業
			ウォールキャビネットの取付						□	ウォールキャビネットを取付ける作業
			電動昇降吊戸棚の取付						□	電動昇降吊戸棚を取付ける作業
			ベースキャビネット・ワークトップの取付						□	ベースキャビネット・ワークトップの組立・調整して設置する作業
			排水部品の組立【注記 3】				□	□	□	排水部品とシンクの組立
			水栓類の組立・ワークトップへの取付【注記 1】					□	□	水栓、浄水器同梱部材の組立(ワークトップへの取付)
			ビルトイン機器の取付【注記 1】					□	□	ビルトイン機器のキッチン本体への組込作業
			試運転・完成検査【注記 4】						□	完成後の試運転、性能確認検査
設置後工事	② ③	電気 管	ウォールキャビネット照明器具工事			○				事前配線の電源線と照明器具の接続、検査
			電気配線器具の取付			○				スイッチ、コンセント等の電気配線工事
			レンジフードとダクト接続工事		○					建築ダクトとレンジフードの接続、検査
			その他電子機器の工事			○				電気機器と電源線、アースの接続工事
	④	ガス	ガス調理機器のガス配管接続工事				□			ガス調理機器のガス栓との接続工事(資格要)
	⑤	管	給水・給湯配管と水栓の接続工事		○					給水・給湯の一次側と水栓の接続、検査
			給水・給湯配管とオプション機器の接続工事		○					オプション機器と一次側給排水の接続、検査
			建築側排水配管への接続工事		○					キッチン排水配管と建築側排水配管の接続、検査

※【注記 1】原則、現場支給製品は支給側で取付実施とする。

※【注記 2】当社製品間のみ実施する場合が多い。但し、現場により打合せにて作業範囲を決定する場合がある。

※【注記 3】給排水配管の仕様や状況により、排水部品の組付作業範囲を打合せにて決定する。

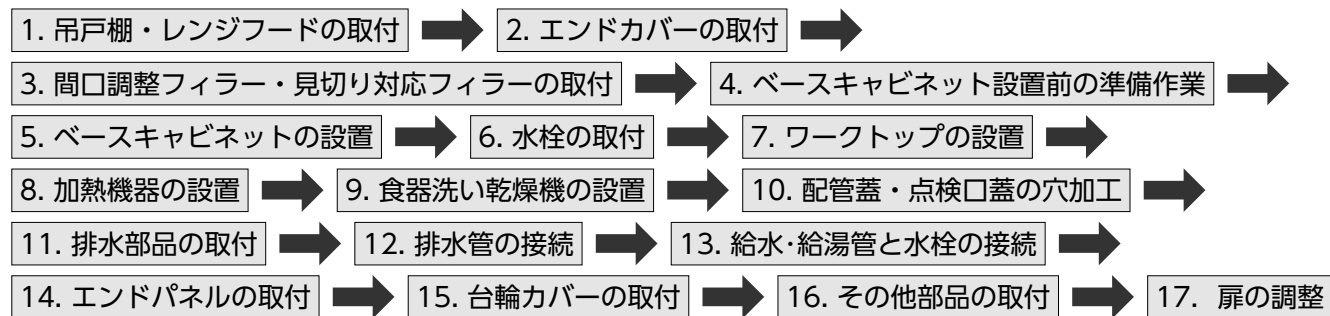
※【注記 4】製品の完成検査、試運転は、工事完成後に行う場合が多い。但し、原則、商品取付完了時に検査、試運転が可能な範囲のみキッチン設置者が実施する。

## 設置前のご確認

- 注文した製品が納入されているか確認してください。
- 設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
- 設置する場所の両端が壁の場合、壁間の寸法がワークトップ間口より6～7mm以上長いことを確認してください。
- 下記の項目についてその位置を確認してください。
  - (1) 給水給湯管・排水管位置
  - (2) 建築側のガス管・電気配線接続位置
  - (3) レンジフードの排気口位置
  - (4) 機器類の電気配線位置
- ガス種、電圧(100V、200V)、周波数(50Hz、60Hz)を確認してください。
- オプション水栓については、付属の説明書をお読みください。

# 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。



## 1. 吊戸棚・レンジフードの取付

吊戸棚の取付は、シンクキャビネットに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

レンジフードの取付は、レンジフードに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

## 2. エンドカバーの取付

エンドカバーを取付けるキャビネットの種類によって、設置手順が異なります。

以下にしたがい、適切な設置を行ってください。

シンクキャビネット		調理キャビネット		コンロキャビネット (F-KEVを除く)
シンク下食洗以外	シンク下食洗	奥行516mm (コンロキャビネット F-KEVを含む)	奥行473mm	
A 7ページへ	B 7ページへ	C 7ページへ	D 7ページへ	E 7ページへ

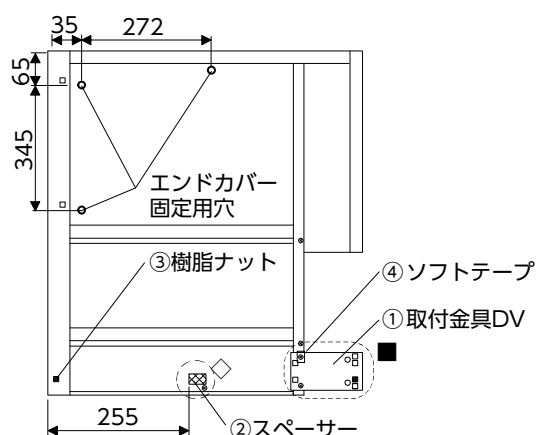
※：本説明書では、キャビネットの右側にエンドカバーを取付ける場合について図示し説明をしています。  
左側に取付ける場合は、左右対称となります。

### 2-1. キャビネットの下準備

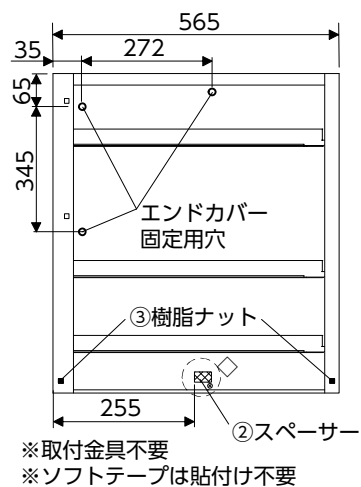
- 1 取付金具GD、DV、GUK、GUZ、GUYを取付けてください。(奥行565mmの調理キャビネットは取付不要)
- 2 スペーサーを貼付けてください。
- 3 キャビネットおよび取付金具の角穴に樹脂ナットを取付けてください。
- 4 キャビネットにソフトテープを貼付けてください。(奥行565mmの調理キャビネットは貼付不要)

**A**

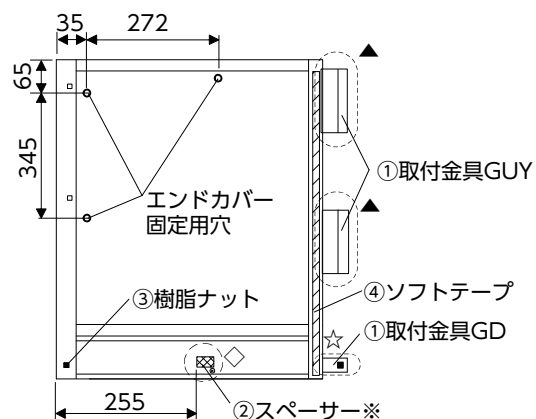
シンクキャビネット  
(シンク下食洗キャビネット (食洗側) 以外)

**B**

シンク下食洗キャビネット (食洗側)

**C**

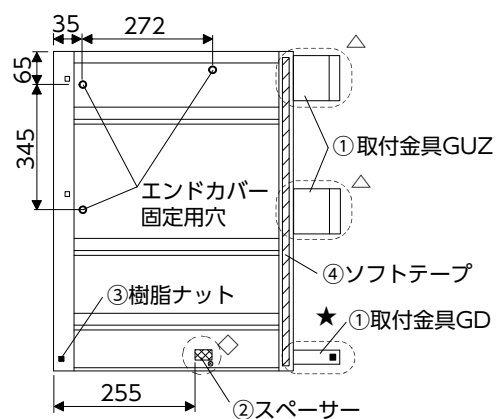
調理キャビネット (F-KEV ~を含む)  
(奥行516mm)



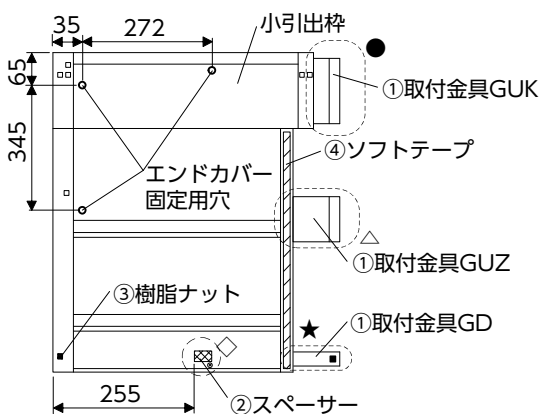
※15調理キャビネットに取付ける場合、キャビネット同梱の、厚み12mmのスペーサーを使用してください。

**D**

調理キャビネット  
(奥行473mm)

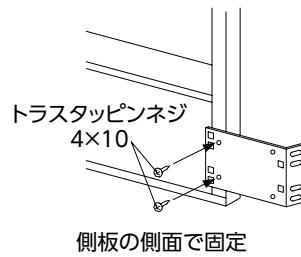
**E**

コンロキャビネット  
(F-KEVを除く)

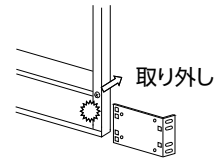


## 取付金具DV 取付部

### ■の場合

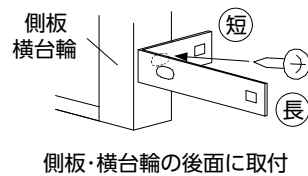


※レールイタナットの固定ビスに取付金具 DV が当たる場合は、  
レールイタナットの固定ビスを外して、取付金具 DV を取付けてください。

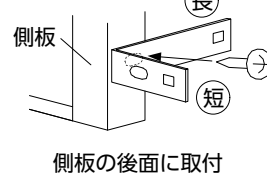


## 取付金具GD 取付部

### ★の場合

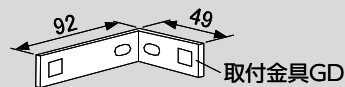


### ☆の場合

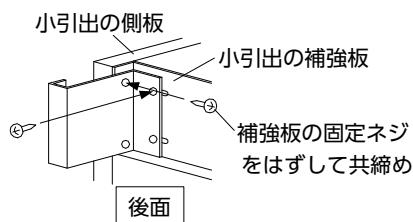


### 注意

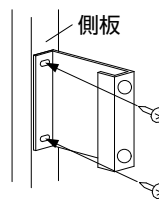
取付金具GDは2方向に取付が可能です。  
取付方向に注意してください。



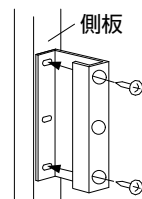
## ●取付金具GUK 取付部



## △取付金具GUZ 取付部

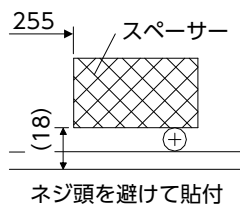


## ▲取付金具GUY 取付部



## スペーサー 貼付部

### ◇の場合



※ 15調理キャビネットに取付ける場合、  
キャビネット同梱の、厚み12mmの  
スペーサーを使用してください。

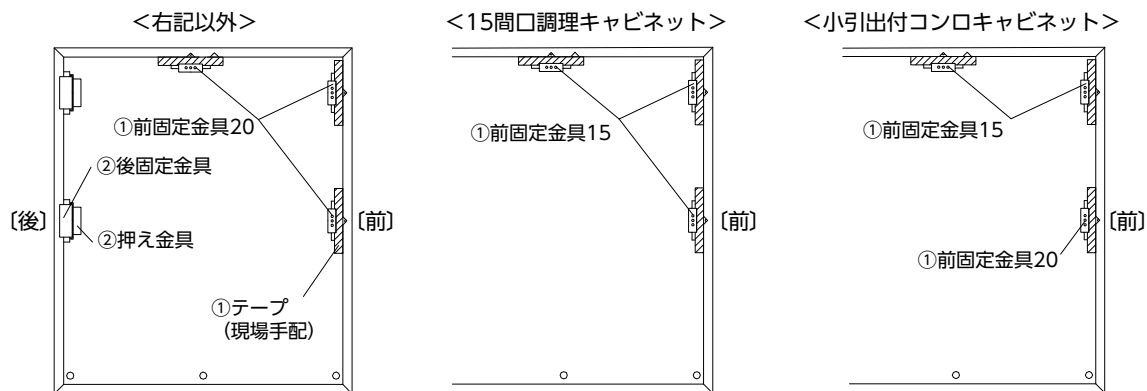


## 2-2. エンドカバーの下準備

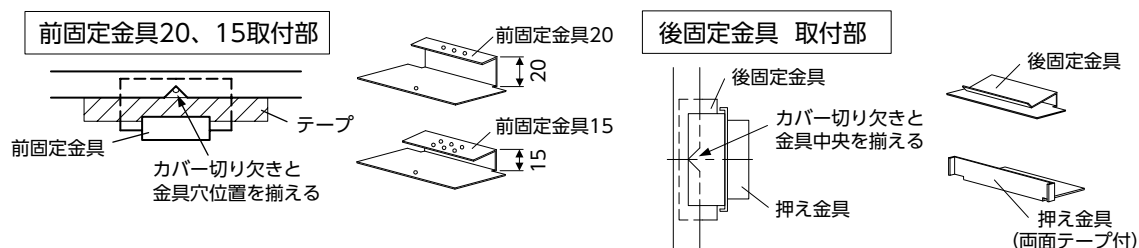
①前固定金具 20・15 をエンドカバーの曲げ部に差込み、お手持ちのテープで取付けてください。

**注意** 金具にネジを打つまでの仮止めテープです。ネジ打ち時に、はがれない程度のテープで貼付けてください。

②後固定金具をエンドカバーの曲げ部に差込み、押え金具を貼付けて固定してください。

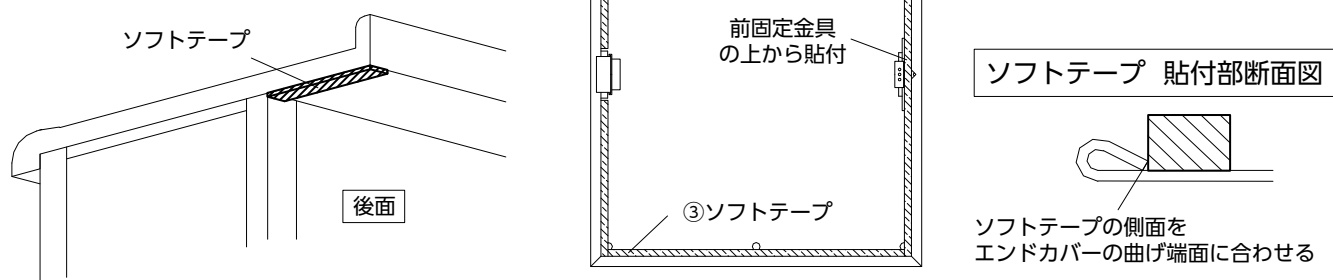


**注意** 前固定金具は、側板の厚みに合わせて20・15を使い分けます。その後は全キャビネット共通です。



③エンドカバーにソフトテープを貼付けてください。

④シンクキャビネット以外に取付ける場合は、コーキングのバックアップのため、ワークトップの裏面にもソフトテープを貼付けてください。



## 2-3. エンドカバーの取付

①後固定金具をキャビネット側板後部のフランジに差し込み、側板とエンドカバーの前面を揃えてください。

※カバー差込時の注意 (15 調理キャビネット、小引出付コンロキャビネットの場合のみ)

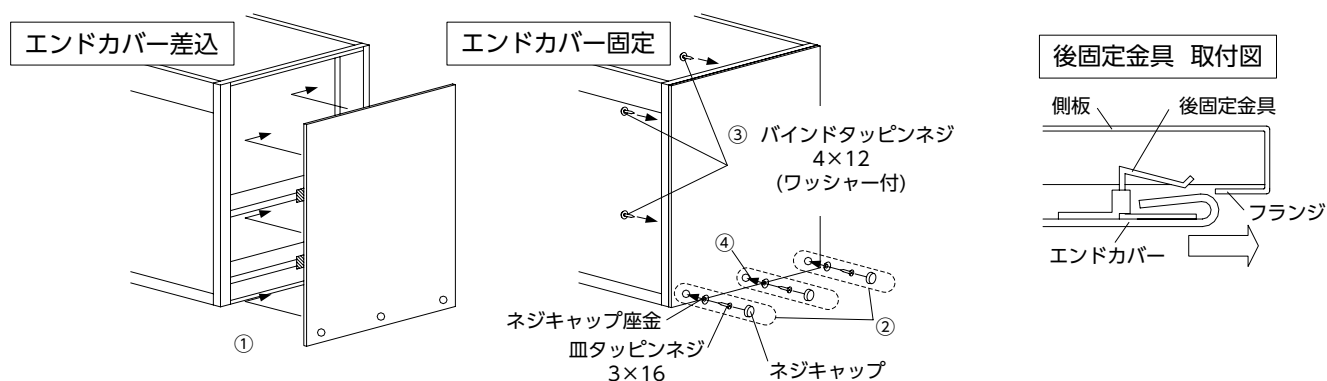
×		先に後側を差込むと、前側の金具がフランジと干渉して納まらない
○		前側の金具をフランジに潜り込ませておき、その後でスライドさせて後側を差込む

②キャビネット外側からネジでエンドカバー下部 (2 ヶ所) を固定してください。

③キャビネット内側から前固定金具にネジを打ってエンドカバーを固定してください。

(ネジ打ち位置はP.5 の図参照)

④キャビネット外側から皿タッピンネジでエンドカバー下部中央 (1 ヶ所) を固定してください。



## 3. 間口調整フィラー・見切り対応フィラーの取付

フィラーに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

## 4. ベースキャビネット設置前の準備作業

### 4-1. 扉・引出・飾板の取りはずし

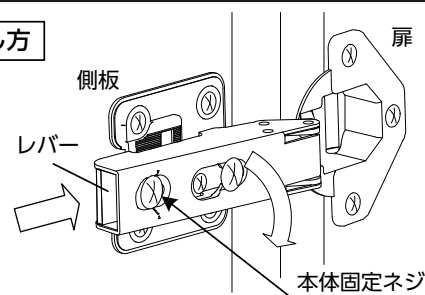
#### 扉

#### ①取りはずし方

丁番プレート後部のレバーを持ち上げながら丁番本体前部を引き上げると、丁番本体が丁番プレートからはずれます。

※扉を全開して上記作業を行うと簡単にはずれます。

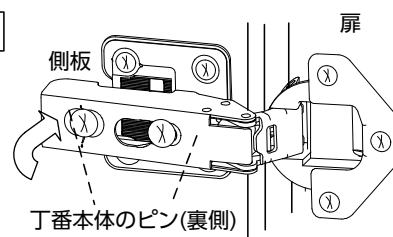
#### 取りはずし方



#### ②取付け方

丁番本体前部のピンを丁番プレート前部のツメに引っ掛け、丁番本体を丁番プレートにかぶせるようにしてカチッと音がするまで押し込んでください。

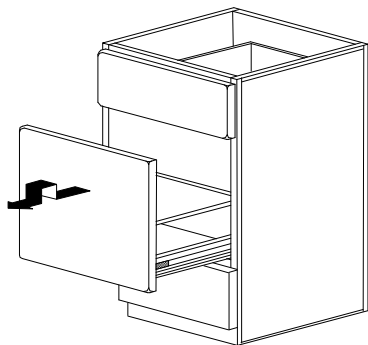
#### 取付け方



## 引出

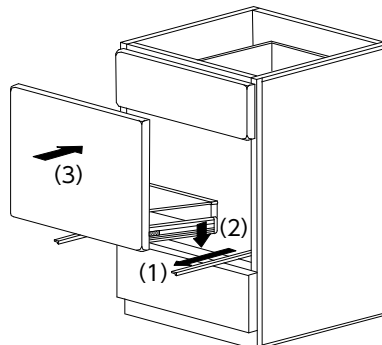
### ①取りはずし方

全開にした状態で、少し持ち上げてロックを解除してから手前に引き抜いてください。



### ②取付け方

レールを手前に引き出し、その上に引出をのせて奥まで押し込んでください。

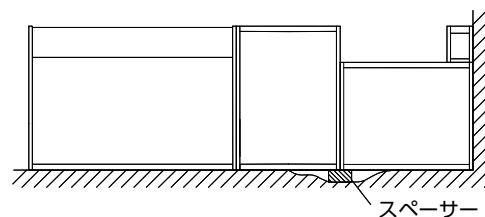


## 注意

15間口調理キャビネットの場合は、キャビネットに付属の取扱説明書を参照してください。

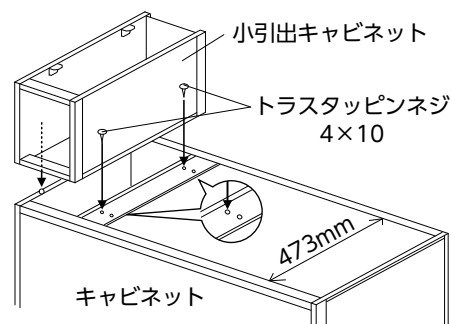
## 4-2. 床面のレベル出し

キャビネットを仮置きし、床面のレベルが出ていない場合は、床とキャビネットの間に適当なスペーサーを入れてレベルを調整してください。

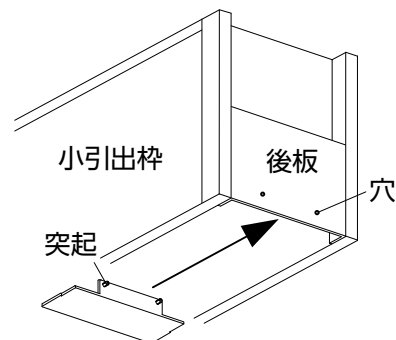


## 4-3. コンロキャビネットの組立 (小引出枠の間口が300/285/150mmの場合)

### 1 キャビネット上面に小引出枠をネジ4本で取付けてください。



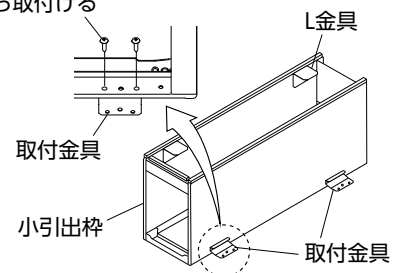
### 2 小引出用キャビネットの後板に塞ぎ板を取付けてください。 (小引出枠の間口が150mmの場合のみ)



## 4-4. コンロキャビネットの組立 (小引出枠のサイズが135の場合)

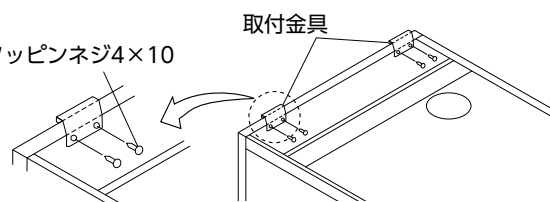
- 1** 小引出枠のL金具の反対側に取付金具を取付けてください。

トラスタッピンネジ4×10で  
内側から取付ける

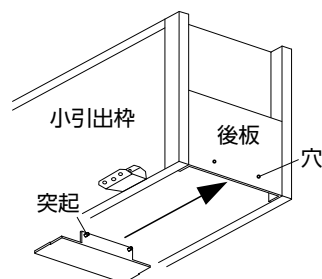
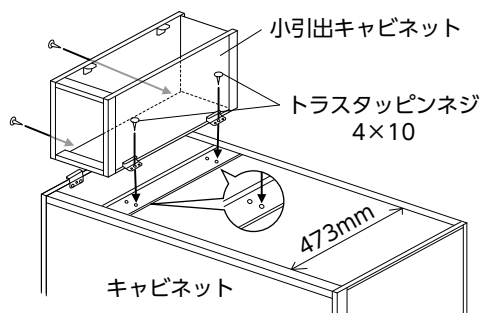


- 2** キャビネット上面に取付金具を取付けてください。

トラスタッピンネジ4×10

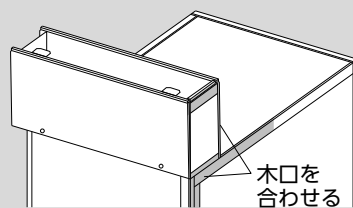


- 3** キャビネット上面に小引出枠をネジ4本で取付け、塞ぎ板を取付けてください。



### 注意

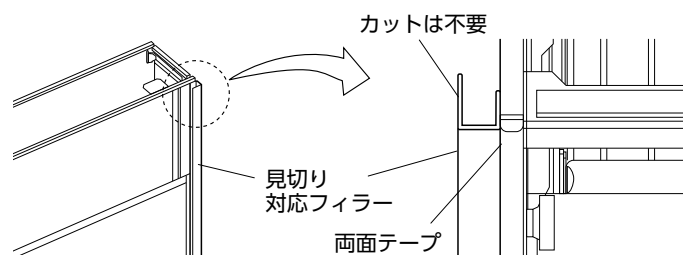
小引出枠を取付ける際は、木口を合わせてください。



## 4-5. 見切り対応フィラーの貼付け

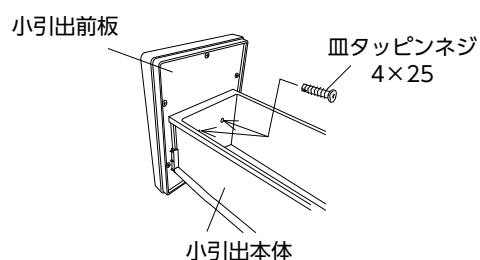
見切り対応フィラーが同梱されている場合は、セットエンド側の側面に貼付けてください。

- 1 見切り対応フィラーを両面テープで貼付けてください。



## 4-6. 小引出の前板取付け

- 1 小引出本体を小引出前板にネジ2本で固定してください。  
(小引出付の60間口の場合のみ)



### 注意

ネジを強く締めすぎると、ネジがきかなくなるおそれがあります。

## 4-7. スペーサー U (間口調整用) の貼付

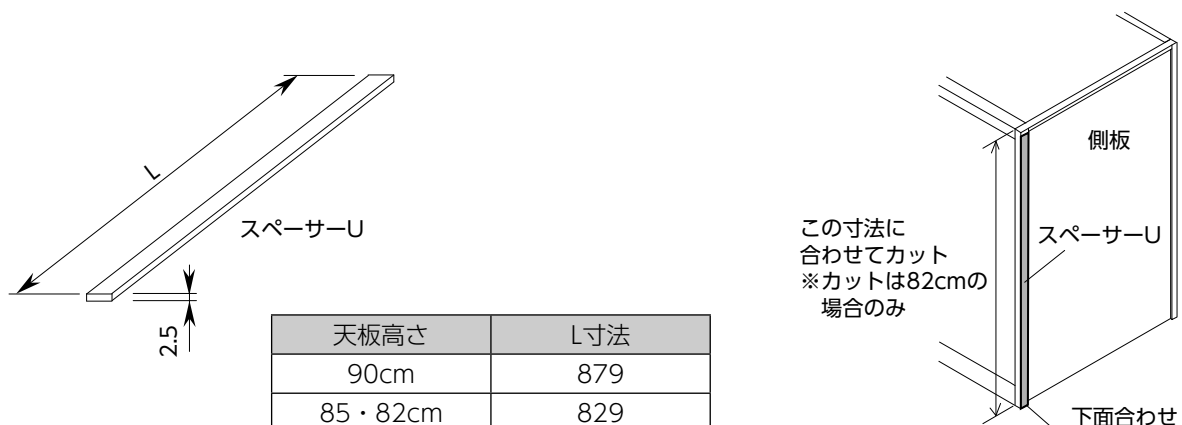
仮置きしたキャビネット間口 (エンドカバー、エンドパネル、フィラーを含む) を測定し、ワークトップ間口との差に合わせてスペーサー U (t2.5mm) をキャビネットに貼付けます。

### 注意

仮置きしたキャビネットの全長を計測したうえでスペーサーUを貼る個数を確認してください。  
キャビネット間口寸法変更により、スペーサーUの廃止を実施します。  
過渡期は寸法変更前後のキャビネットが混在しています。

- 1 見切り対応フィラーを取付けなかった場合は、クローズ側のセットエンドの側板に1枚 (手前のみ) 貼付けてください。

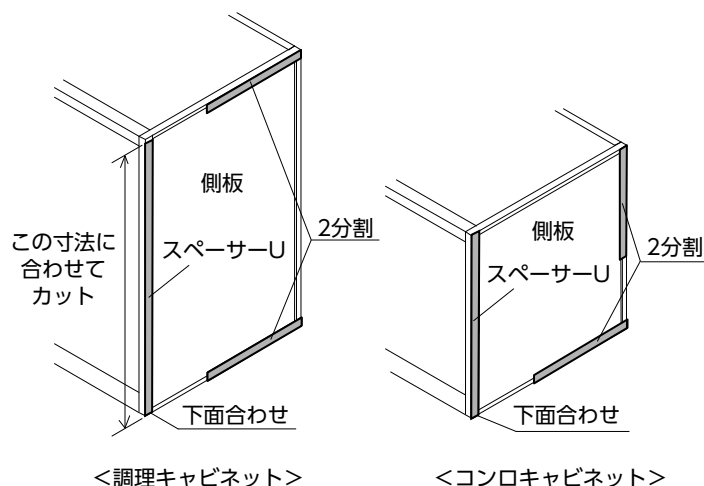
見切り対応フィラーを取付けた場合は、セットエンドには取付けないでください。



## 2 1でも足りない場合は、2枚をカットしてキャビネット間の側面に貼付けてください。

### 注意

- ビルトインレンジおよび食器洗い乾燥機と隣接する箇所には貼付けないでください。
- コンロキャビネットと他のキャビネットの間に貼付ける場合は、コンロキャビネット側に貼付けてください。
- シンクキャビネットと他のキャビネットの間に貼付ける場合は、他のキャビネット側に貼付けてください。

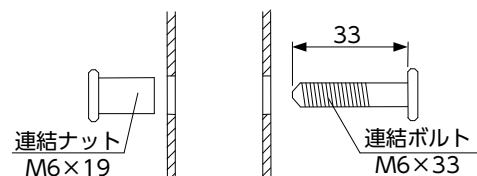


## 5. ベースキャビネットの設置

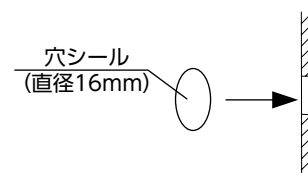
### 5-1. キャビネットの連結

#### 1 キャビネットの側板および横台輪の連結穴より、連結ボルト連結ナットで隣接するキャビネットを連結してください。

15間口調理キャビネットを連結する場合、または90・75間口コンロキャビネットの小引出側にキャビネットを連結する場合は、P.16をご覧ください。

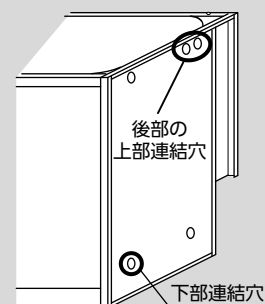


#### 2 連結後、使用していない下部連結穴には穴シールを貼付けてください。



### 注意

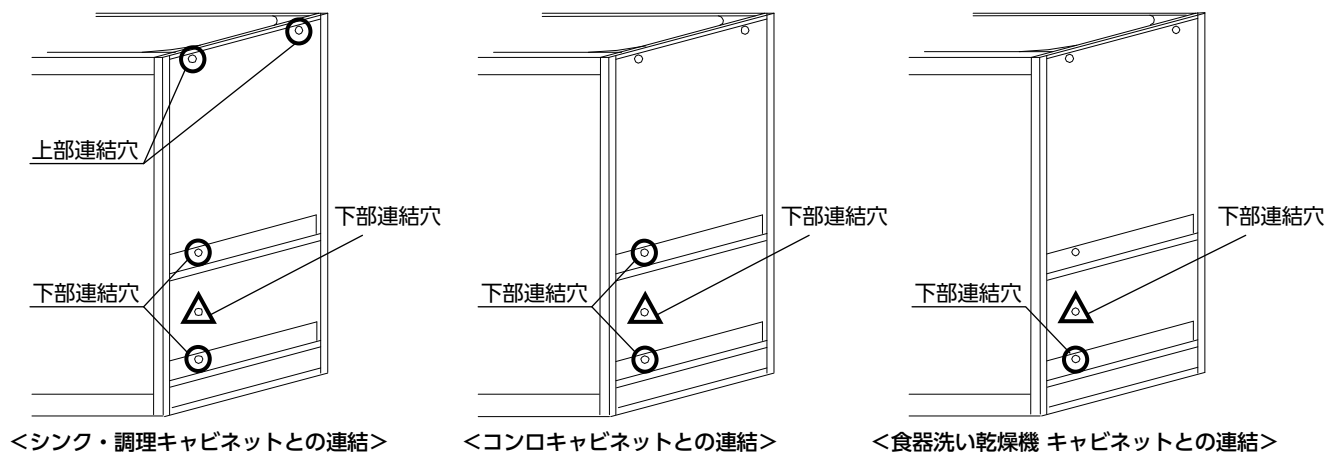
- 下部の連結はキャビネット間に隙間が開かないようにするために行います。連結するキャビネットを密着させた状態で軽く締め付けてください。**強く締め付けすぎるとキャビネットが変形し、引出が脱輪したり引出の開閉が重くなるおそれがあります。**
- 電気ドライバーは使用しないでください。
- 設置完了後に引出の開閉を確認して、重いようであれば下部の連結を緩めて調整してください。
- 後部の上部連結穴は、穴が2箇所開いている場合があります。連結するキャビネットに合う位置で連結してください。



## 足元スライドタイプ同士の連結の場合

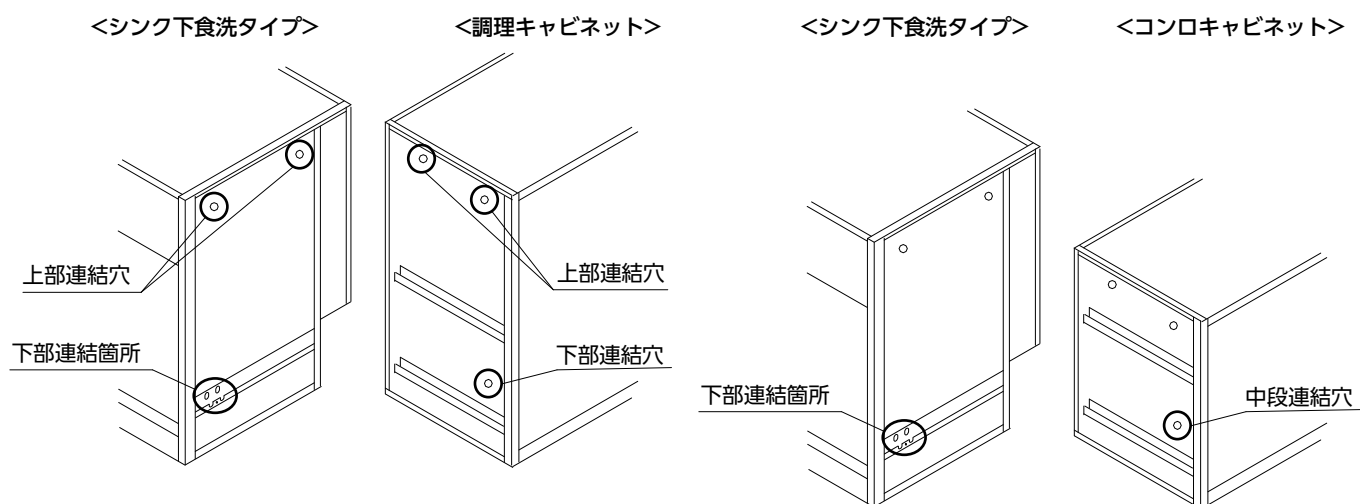
側板の連結穴を使用して連結してください。

15cm調理キャビネットの場合は、下部の連結は△の穴を使用してください。



## シンク下食洗タイプと足元スライドタイプとの連結の場合

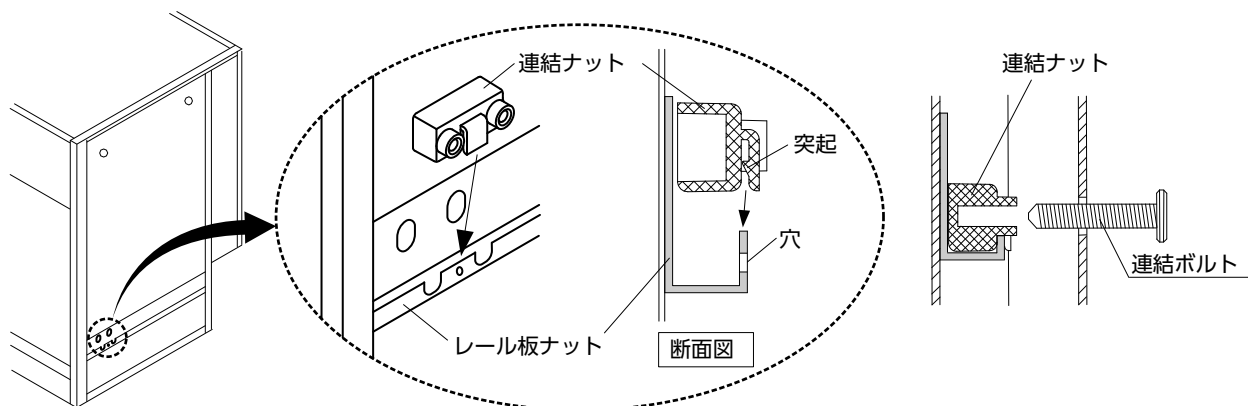
側板の連結穴を使用して連結してください。



## シンク下食洗タイプのシンクキャビネットの場合

シンク下食洗タイプのシンクキャビネット (食洗側を除く) は、下部連結穴がありません。

レール板ナットに連結ナットを差し込み、もう一方のキャビネットから連結ボルトで連結してください。



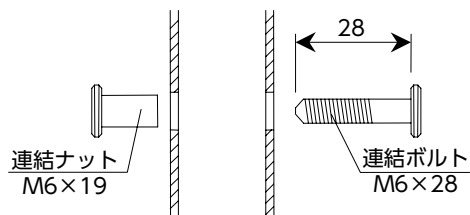
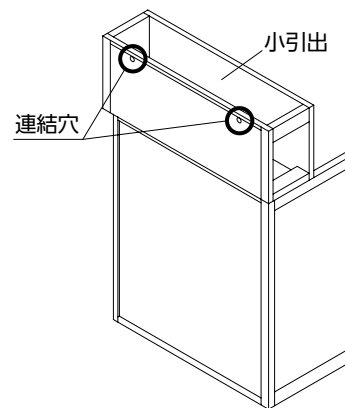
## 15間口調理キャビネットを連結する場合

## 90・75間口コンロキャビネットの小引出側にキャビネットを連結する場合

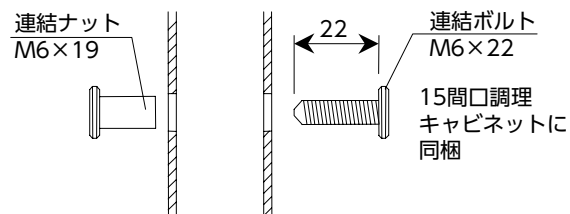
上記キャビネットに付属の連結ボルトを用いて、同様に連結してください。

### 注意

- 連結ボルトは必ずそれぞれのキャビネットに付属のものを使用してください。他のキャビネットに付属の連結ボルトとは長さが異なります。
- コンロキャビネットの小引出部以外の連結位置は、他のキャビネットと同じです。



15間口調理キャビネットとコンロキャビネットの小引出側を連結する場合は、15間口調理キャビネットに付属の連結ボルトを用いて、同様に連結してください。



## 5-2. キャビネットの壁固定

### コンロキャビネット以外の奥行615mmキャビネットの場合

### コンロキャビネットの45IH用キャビネット (F-KE ~) の場合

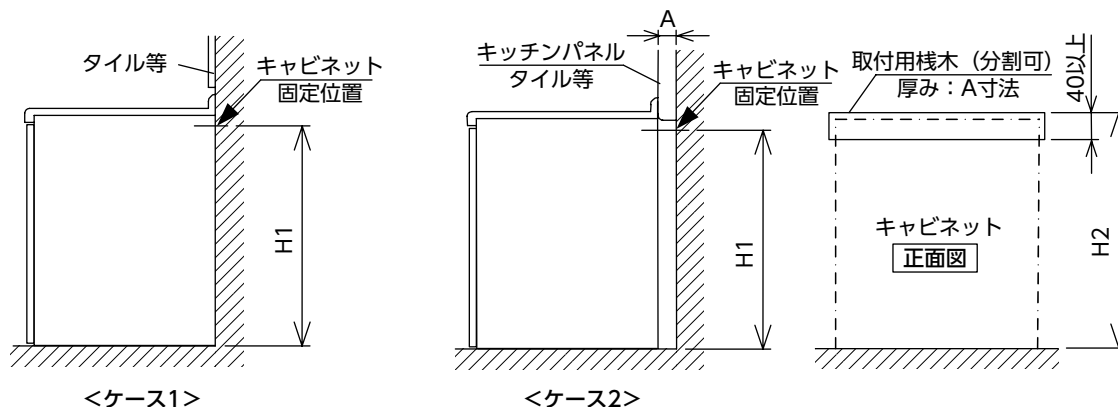
取付用棧木の取付 (下図ケース2の場合のみ)

- 1 キャビネットが設置される奥壁部に取付用棧木 (ケース2のA寸法に合わせた木質材：現場手配) を皿ネジ等 (頭が出ないもの) で取付けてください。

	ワークトップ高さ (mm)		
	900	850	820
H1 (mm)	865	815	786
H2 (mm)	885	835	806

### 注意

- ワークトップ高さによって取付高さが異なります。
- セットの外側にはみ出さないようにしてください。
- 取付用棧木のネジ打ちは後壁の棧木のある所に行ってください。



<ケース1>

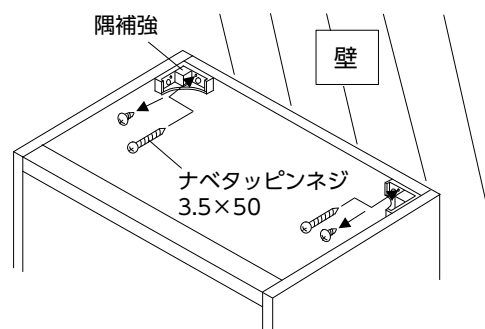
<ケース2>



## 2 キャビネット奥側の隅補強を止めているネジ2本をはずして、そのネジ穴から壁面へネジで固定してください。

### 注 意

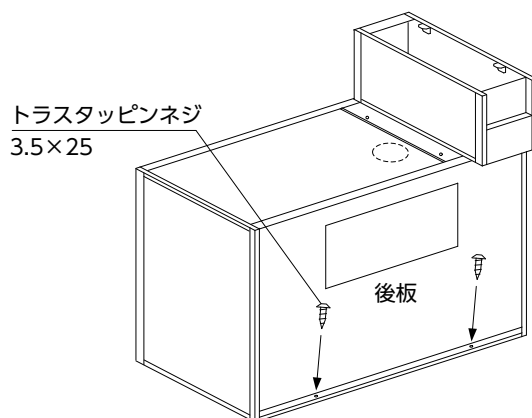
窓下用キッチンパネルがネジ打ち位置にかぶる場合は、キッチンパネルに穴加工して防錆処理を行ってからネジで固定してください。



## 5-3. キャビネットの床固定

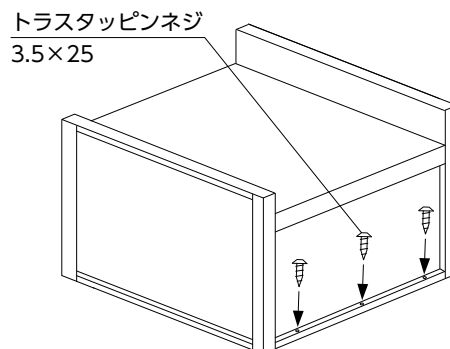
### 奥行473mmのコンロキャビネットの場合

キャビネットの後板または台輪スペーサーから床面にネジで固定してください。



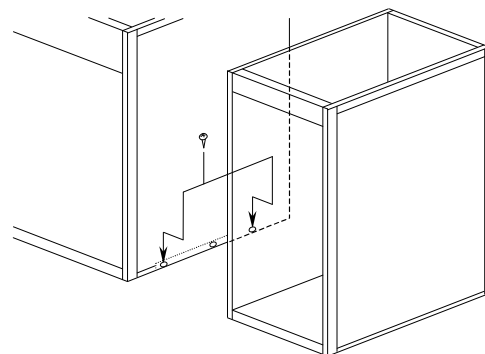
### 食器洗い乾燥機用キャビネットの場合

キャビネットの後板または台輪スペーサーから床面にネジで固定してください。



### その他のキャビネットの場合

ビルトインレンジや中抜き部に隣接するキャビネット、およびオープン側に設置されるキャビネットの場合は、横台輪の穴より床面にネジで固定してください。



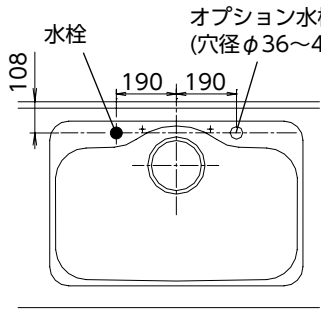
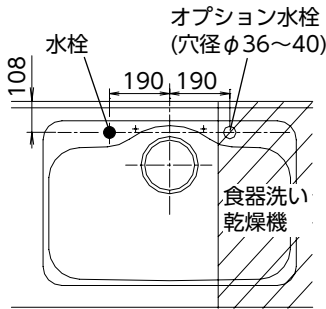
## 5-4. ビルトインレンジの設置

キャビネットの設置と同時に、所定の位置に器具本体を設置してください。

## 6. 水栓の取付け

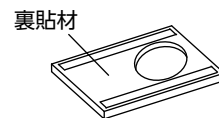
### 1 水栓穴の加工

オプション水栓（アルカリ整水器、浄水器専用水栓）を取付ける場合は、下図にしたがってワークトップの所定の位置に穴加工を行ってください。（●印：穴加工は不要 ○印：現場で穴加工）

標準（食洗無し）の場合 シンク横食洗の場合	シンク下食洗の場合
 <p>水栓とオプション水栓は入替可能です。</p>	 <p>図は食洗機が右側の場合です。 左側の場合は左右対称になります。</p>

### 2 裏貼材の貼付

加工した穴に合わせて、別売部品の裏貼材をシンクの裏面に貼付けてください。



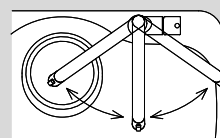
### 3 水栓の取付

水栓およびオプション水栓（アルカリ整水器・浄水器専用水栓）は、それぞれに付属の取付説明書にしたがって取付けてください。

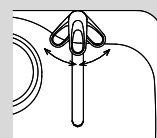
#### 注意

水栓は正面を向けて設置してください。

- ハンドシャワー水栓の場合：吐水口の首振り範囲が左右均等になる位置
  - シングルレバー水栓の場合：吐水レバーが左右均等になる位置
- ※エコタイプの場合はクリック感がある箇所が正面(左右均等にならないのでご注意ください。)



ハンドシャワー水栓

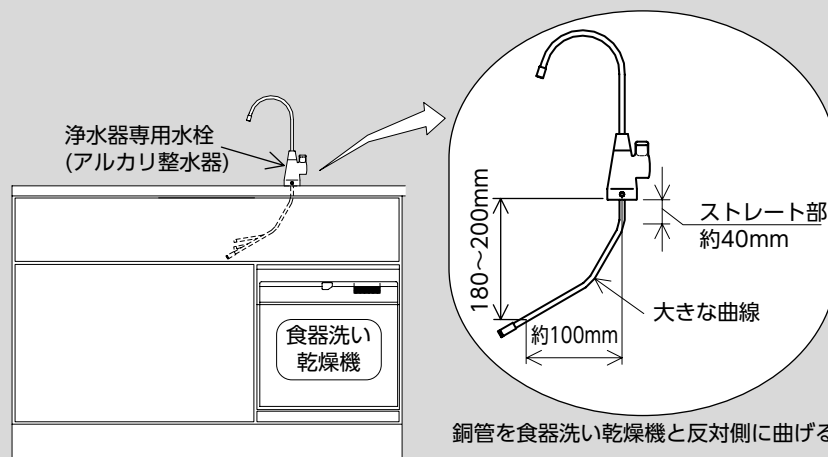


シングルレバー水栓

#### 注意

シンク下食洗の場合、オプション水栓と食器洗い乾燥機が干渉して設置しにくい場合は、水栓の銅管を食器洗い乾燥機に沿う形で大きな曲線になるように曲げてください。


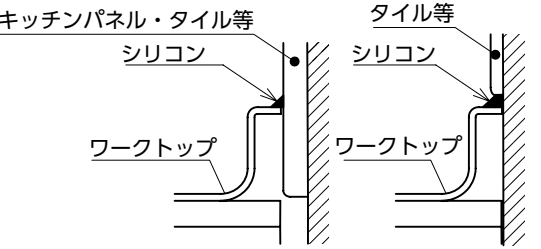
（※銅管を局部的に曲げないでください。銅管が破損するおそれがあります。）



銅管を食器洗い乾燥機と反対側に曲げる

## 7. ワークトップの設置

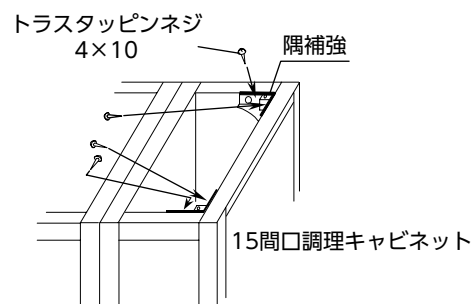
### ⚠ 作業上の注意事項

	<p>人造大理石製ワークトップの両端が壁の場合シリコンによる目地を3～4mmとってください。 温度変化による伸縮によって、ワークトップにそりが発生するおそれがあります。</p>	
	<p>壁等に接するワークトップ部分は、シリコンでコーキング処理を行ってください。 水が進入した場合、腐食や、カビ発生の原因になるおそれがあります。 ※シリコン色対応表は「仕上げ」(P.42)を参照。</p>	
	<p>ワークトップを移動する場合は、水平にした状態で運ばないでください。 水平にした状態で運んだ場合、ワークトップに損傷を与えるおそれがあります。</p>	
	<p>設置中、ワークトップおよびシンクの中などに乗らないでください。 製品が変形・破損するおそれがあります。</p>	
	<p>ワークトップ関連の作業を行っていない場合は、ダンボール等で養生を行ってください。 壁塗り、タイル張り、配管工事などに際して、モルタル、鉄くずなどでワークトップおよびシンクに傷がつくおそれがあります。</p>	
	<p>シンナー、アセトン等の強力な溶剤で洗淨しないでください。 製品が変形・変色するおそれがあります。</p>	

### 7-1. ステンレス製ワークトップの場合

#### 1 ワークトップ設置前の準備

- ① 15間口調理キャビネットがセットエンドにくる場合は、隅補強2個をキャビネットに取り付けてください。

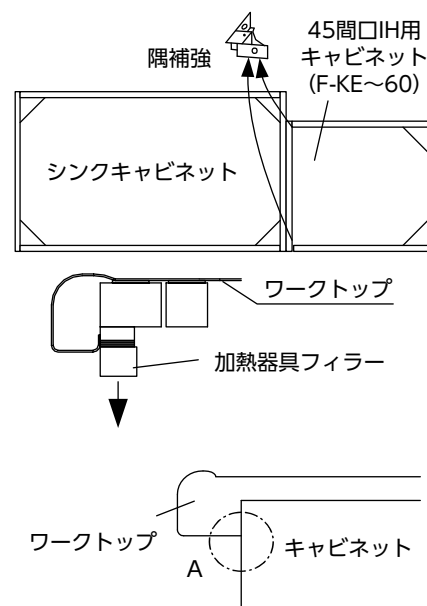


- ② 45間口IH用キャビネット (F-KE ~ 60) の場合は、シンクキャビネット側の隅補強をはずしてください。

## 注意

防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。

また、ワークトップ前下がり部の加熱器具フィラーを取りはずしてください。



## 2 ワークトップの仮置き

ワークトップをキャビネットにのせ、A部にスキが発生しないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

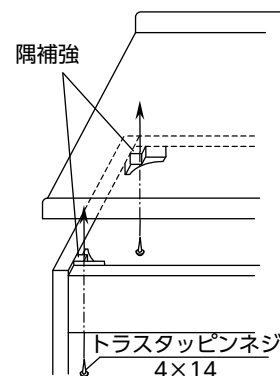
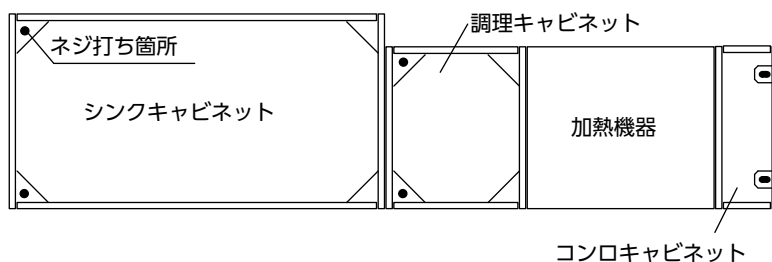
## 注意

シンク裏面のシンクカバーを破らないようにしてください。

## 3 ワークトップの固定

### ① 隅補強からの固定

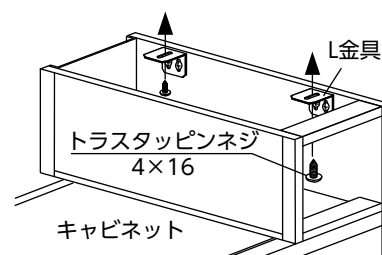
キャビネットの隅補強より、ネジでワークトップを固定してください。  
固定箇所はワークトップの両サイドと中央部です。



### ② L金具からの固定

#### コンロキャビネットがセットエンドにくる場合

キャビネットのL金具より、ワークトップを固定してください。

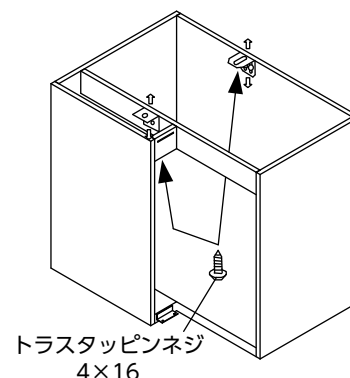


#### コーナーキャビネットの場合

L金具からネジでワークトップを固定してください。

## 注意

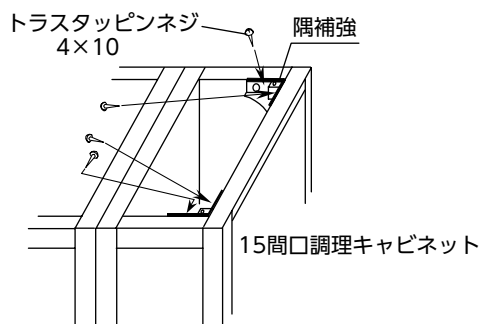
L金具は上下にスライドできるようになっています。  
ワークトップの引きつけが十分でなかったり、ワークトップにひずみが生じたりした場合は、L金具を上下させて調整してください。



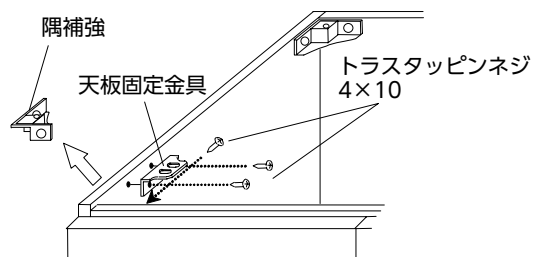
## 7-2. 人造大理石製ワークトップの場合

### 1 ワークトップ設置前の準備

- ① 15間口調理キャビネットがセットエンドにくる場合は、隅補強2個をキャビネットに取り付けてください。



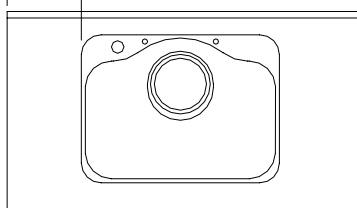
- ③ シンクがZSシンク (幅600mmのシンク) でセットエンド側に寄っている場合は、セットエンド側の前側の隅補強をはずして、ワークトップに付属のネジで天板固定金具を取付けてください。



#### 注意

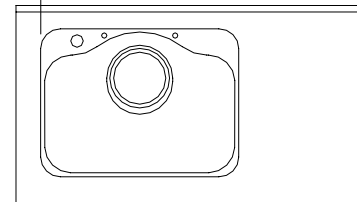
防錆のため、はずしたネジは元の位置に取り付けてください。

225mm以上



<シンクがセットエンド側に寄っていない場合>

215mm以下

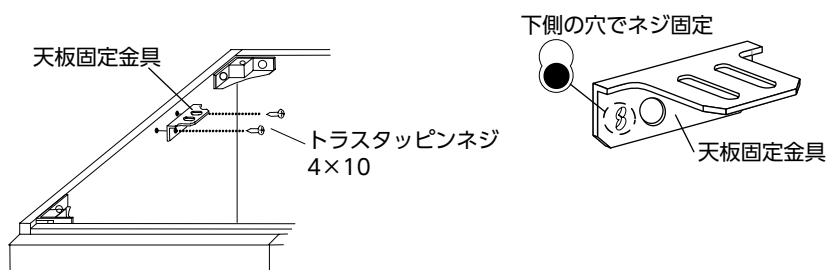


<シンクがセットエンド側に寄っている場合>

- ④ セットエンドのキャビネットに天板固定金具を取付けてください。

#### 注意

- 天板固定金具の固定穴は、ダルマ穴になっています。
- 天板固定金具がキャビネット上面と合うように、下側の穴で固定してください。



セットエンドが奥行516mmキャビネットの場合は、後側の隅補強をはずして、天板固定金具を取付けてください。

#### 注意

キャビネットに付属のネジを使用してください。

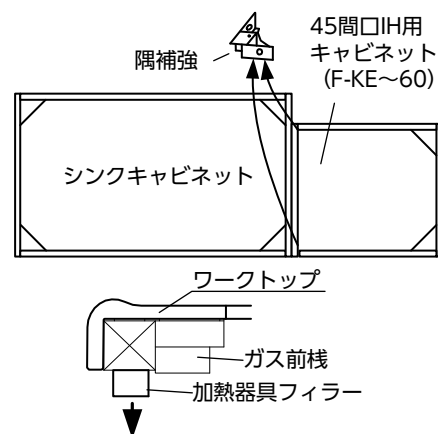
- ⑤ 45間口IH用キャビネット (F-KE ~ 60) の場合は、シンクキャビネット側の隅補強をはずしてください。

## 注意

防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。

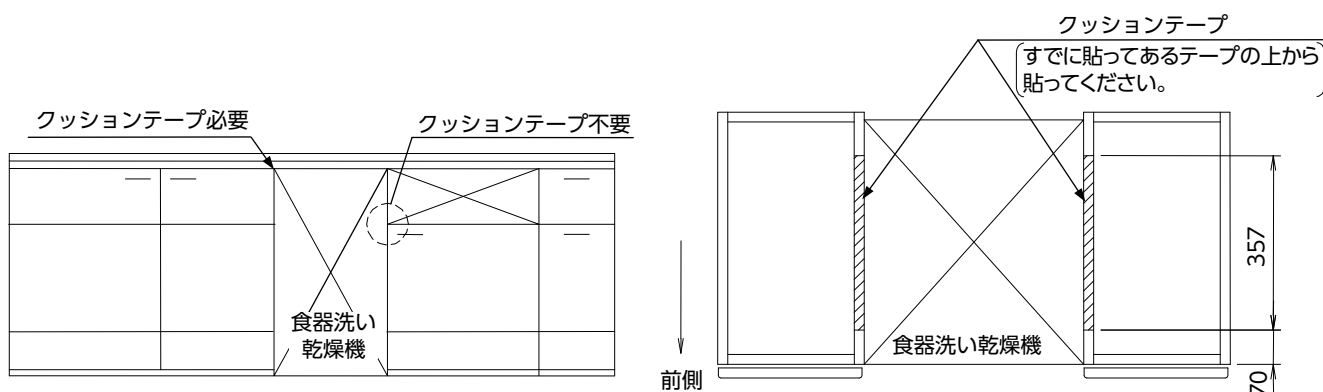
また、ワークトップ前下がり部の加熱器具フィラーとガス前棧を取りはずしてください。

- 加熱器具フィラーは引っ張ってははずしてください。
- ガス前棧はノミで削りとってください。

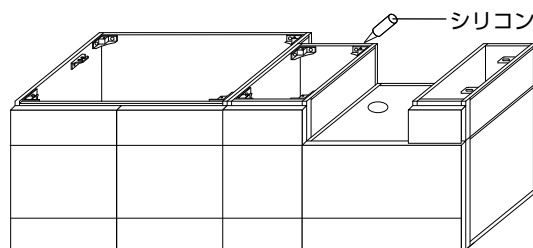


- ⑥ 食器洗い乾燥機 (シンク下設置タイプは除く) に隣接するキャビネット側板の上面所定の位置にクッションテープを貼付けてください。

(隣接するキャビネットがコンロキャビネットの場合は不要です。)



- ⑦ 隅補強の上面にシリコンを塗布してください。



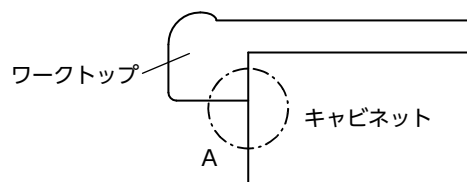
## 2 I型配列のワークトップの設置

### ① ワークトップの仮置き

ワークトップをキャビネットにのせ、A部にスキが発生しないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

## 注意

シンク裏面のシンクカバーを破らないようにしてください。

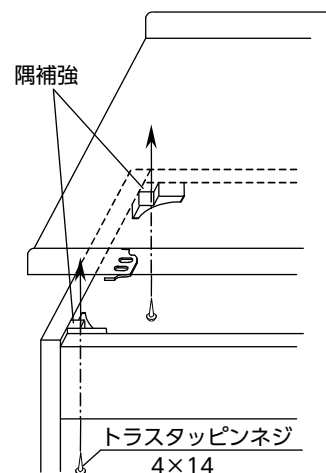
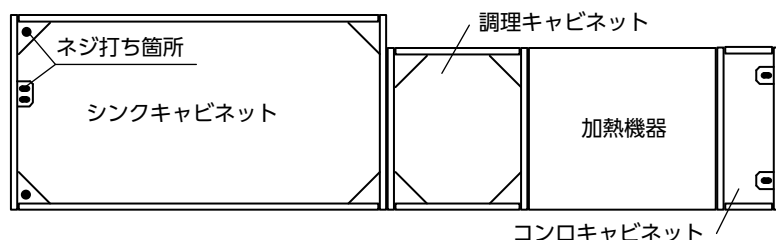


### ② 人造大理石製ワークトップの固定

#### (1) 隅補強からの固定

キャビネットの隅補強より、ネジでワークトップを固定してください。

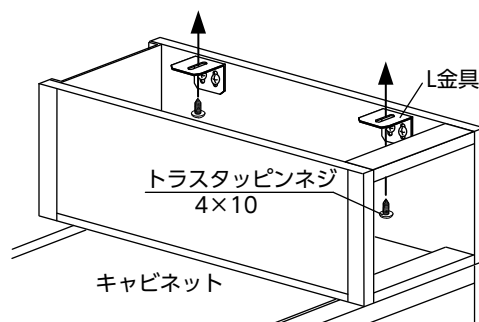
固定箇所はワークトップの両サイドです。(中央部は不要)



## (2) L金具からの固定

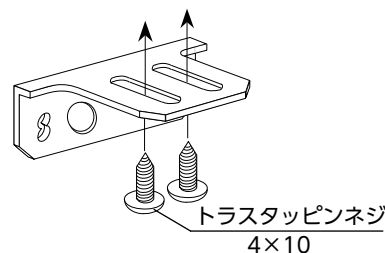
### コンロキャビネットがセットエンドになる場合

キャビネットのL金具より、ワークトップを固定してください。



### 天板固定金具を取付けた場合

キャビネットに取付けた天板固定金具より、ワークトップを固定してください。

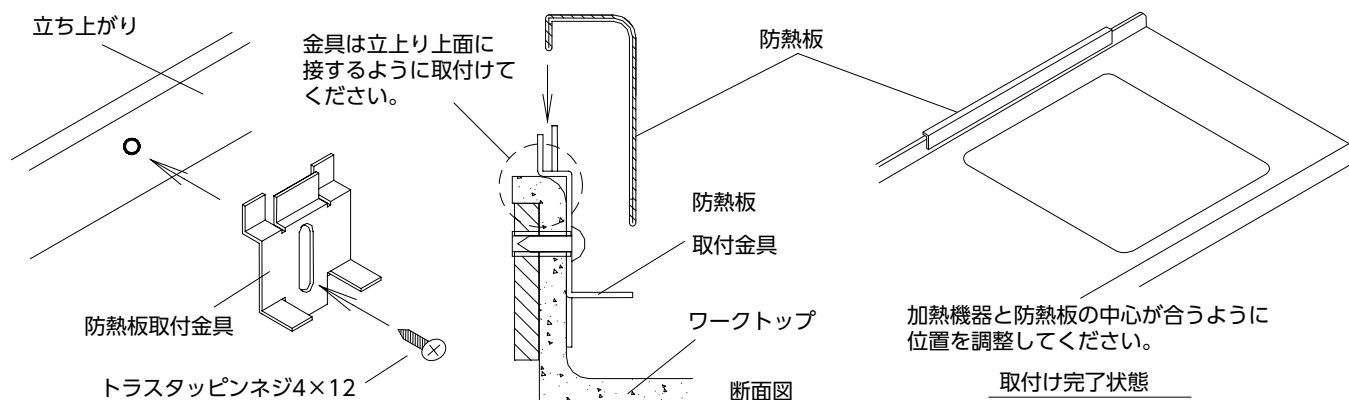


## 3 防熱板の取付 (人造大理石天板の場合のみ)

ワークトップの立上り部分にある下穴 (2ヶ所) に、ブッシュを奥まで差し込んでください。

防熱板取付金具をネジでブッシュに固定し、防熱板を金具に差し込んでください。

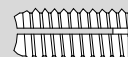
加熱機器と防熱板の中心が合うように位置を調整してください。



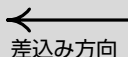
### 注意

ブッシュを反対に差し込むと取付できませんので、差込み方向に注意してください。

差込み側の形状



表側の形状

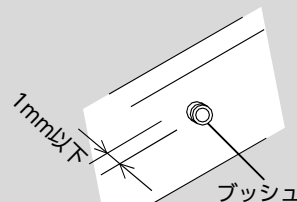


差込み方向

### 注意

立上りより1mm以上飛び出ないようにしてください。

防熱板取付金具が  
しっかり取付できない  
おそれがあります。



## 8. 加熱機器の設置

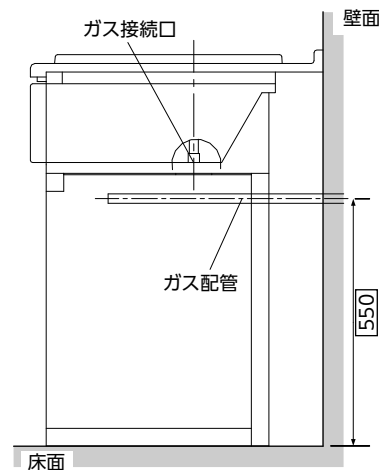
加熱機器に付属の設置説明書にしたがって設置してください。  
以下の場合は、配管・配線用の穴加工を行ってください。

### 8-1. ガス加熱機器の場合

①右図を参照して、ガス配管位置を確認してください。

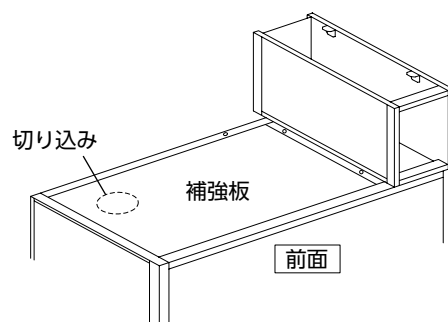
#### 注意

ガス配管位置が低過ぎると、引出や収納物に干渉するおそれがあります。低すぎる場合は、配管をやりなおしてください。



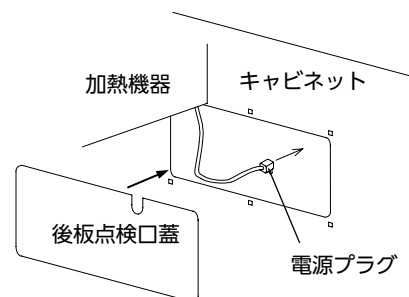
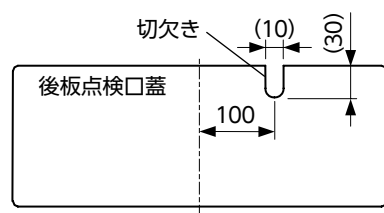
※□内寸法は天板高さ850mmの場合を示します。  
天板高さ820mmの場合：□-30mm  
天板高さ900mmの場合：□+50mm

- ②ガス配管の位置に合わせて、後板点検口蓋にガス配管が通る大きさの穴を加工してください。
- ③後板点検口蓋の穴にガス配管を通し、後板点検口蓋を蓋の突起でキャビネットに取付けてください。
- ④切り込みを利用して、補強板に配管穴を加工してください。



### 8-2. 45 間口の電気加熱機器の場合

- ①後板点検口蓋に電源コード用の切欠きを加工してください。
- ②後板点検口から電源プラグをコンセントに接続してください。
- ③後板点検口蓋をキャビネットに取付けてください。





## 9. 食器洗い乾燥機の設置

食器洗い乾燥機をシンク下に設置する場合に、「食器洗い乾燥機の設置説明書」の記載内容と異なる部分のみを記載しています。

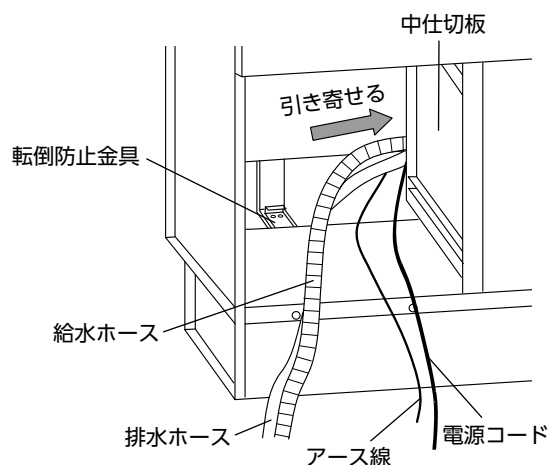
記載内容以外については「食器洗い乾燥機の設置説明書」を参照して設置してください。

### 9-1. 本体のビルトイン

給水ホース・排水ホース・電源コード・アース線を全て中仕切板の下を通して引き寄せてください。

#### 注意

食器洗い乾燥機を押込む時、排水ホースが折れる、または電源コード・アース線等が転倒防止金具にかみ込むのを防止するため、これらを少しずつ引き寄せながら設置作業を行ってください。

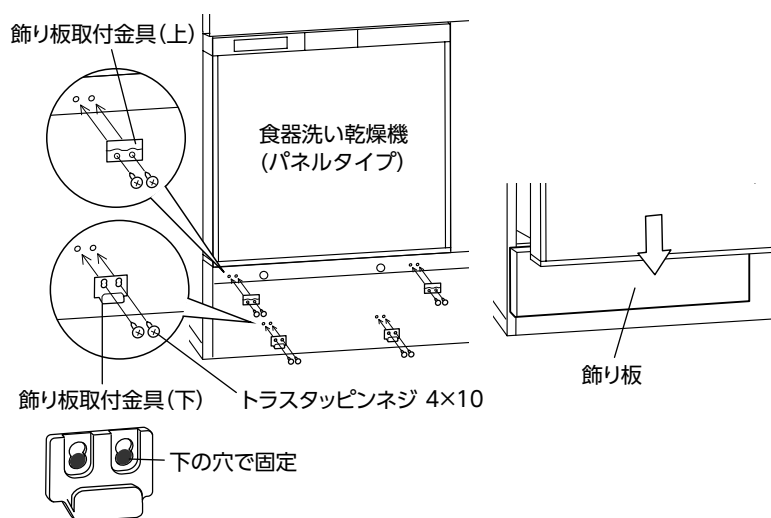


### 9-2. 飾り板の取付 (食器洗い乾燥機が「パネルタイプ」の場合のみ)

1 飾り板取付金具をキャビネットにネジで固定してください。

2 食器洗い乾燥機の引出しを開け、取付けた金具に飾り板を上から差し込んでください。

※食器洗い乾燥機の前ズレ防止用ネジが干渉する場合は、ネジを外してから飾り板の取付を行い、その後、ネジを付け直してください。



# 設置方法

## ■ 取付け方法

飾板は底板と飾り板取付金具の間に挟んで固定しています。

- 1 飾板底面の長穴を飾り板取付金具(下)に挿し込む。
- 2 飾板を下に押し、飾り板取付金具(上)の隙間に飾板の曲げを挿し込む。

### 注意

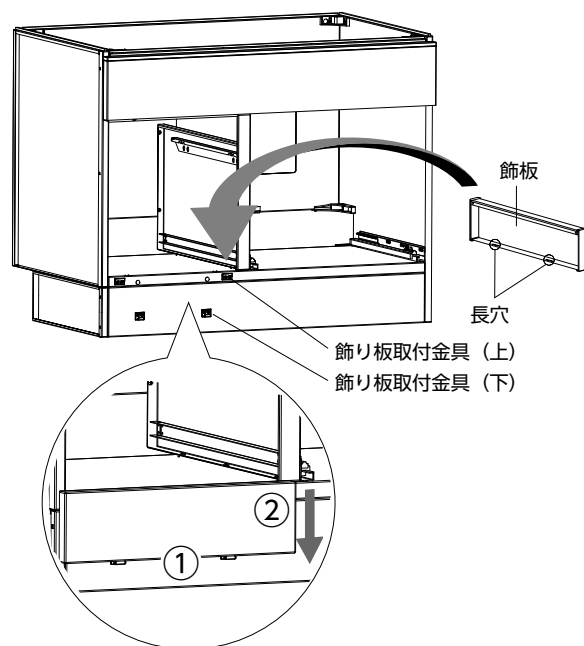
しっかりと下まではめ込めたか確認をしてください。

## ■ 取外し方法

食器洗い乾燥機の引出を開け、飾板を上引き上げてください。

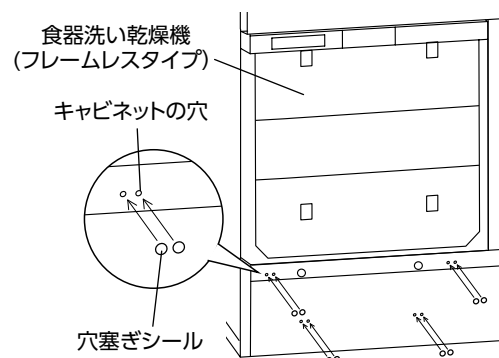
### 注意

飾板の嵌合が固い場合に、飾板が取りはずしにくいことがあります。



## 9-3. 穴塞ぎシールの貼付 (食器洗い乾燥機が「フレームレスタイプ」の場合のみ)

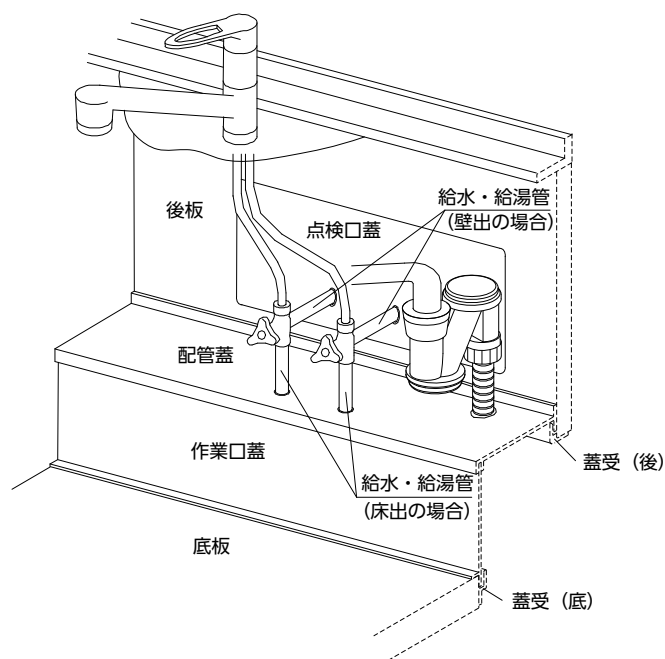
キャビネットの穴に、穴塞ぎシールを貼付けてください。



## 10. 配管蓋・点検口蓋の穴加工

配管蓋・点検口蓋には、給水・給湯管、排水管引き込み用の穴加工が必要になります。

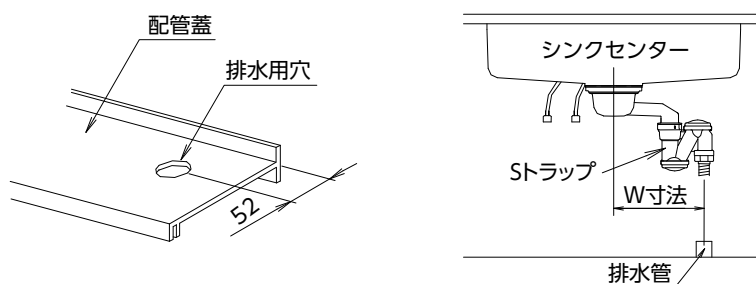
### <配管完成図>



### 10-1. 排水管用の穴加工

配管蓋に排水用の穴を加工してください。

- 穴径 排水パイプで接続する場合 :  $\phi 38$ 程度  
直管で接続する場合 :  $\phi 50 \sim \phi 60$
- 奥行位置 : 後側より52mm
- 間口位置 : シンクセンターからWmm



シンク	ノーマルタイプ (F-RN ~)		シンク下食洗タイプ (F-RR ~)	
	W寸法	向き	W寸法	向き
ZM/ZS	130	加熱機器側	285	食洗機と反対側

### 注意

排水管の位置が上表と大きくズレている場合は、排水管を正しい位置に移動してください。  
移動できない場合は以下の項目に注意して、排水管の位置に合わせて穴を加工してください。

- 引出や収納物と干渉しないように、Sトラップを配置できるかどうか。
- オプション水栓を設置する場合、カートリッジ等の設置スペースが確保できるかどうか。

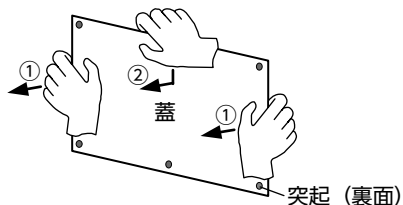
## 10-2. 給水・給湯管引き込み用穴の加工

### 1 配管蓋または後板の点検口蓋に、給水・給湯管引き込み用の穴を加工してください。

点検口蓋・作業口蓋は、蓋の突起でキャビネットに取り付けられていますので、以下の要領ではずしてください。

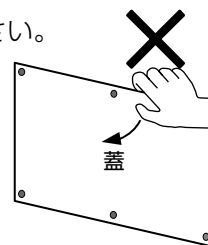
①両サイドの中央部分に手を掛け、手前に引いて4隅の突起をはずしてください。

②上辺の中央部分に手を掛け、下方向に力を加えながら手前に引いてはずしてください。

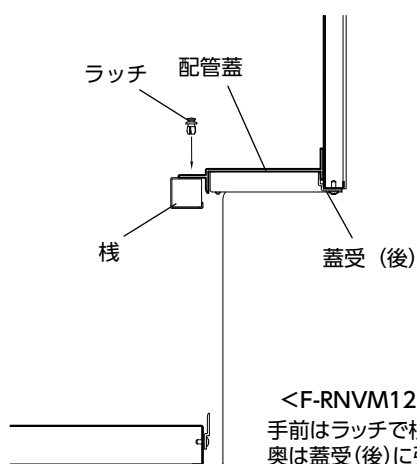


#### 注意

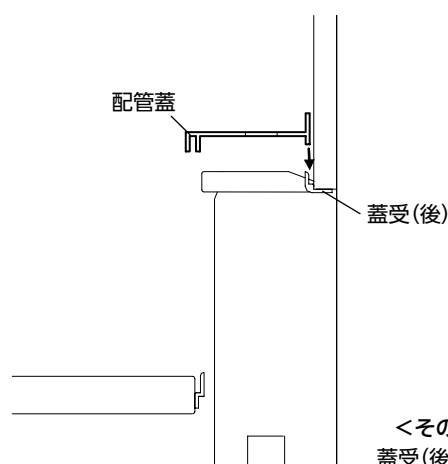
右図のように指示と異なる部分を持って、無理にはずさないでください。突起が折れるおそれがあります。



### 2 配管蓋を取付けてください。



<F-RNVM120 ~の場合>  
手前はラッチで栈に、  
奥は蓋受(後)に引っ掛けて取付

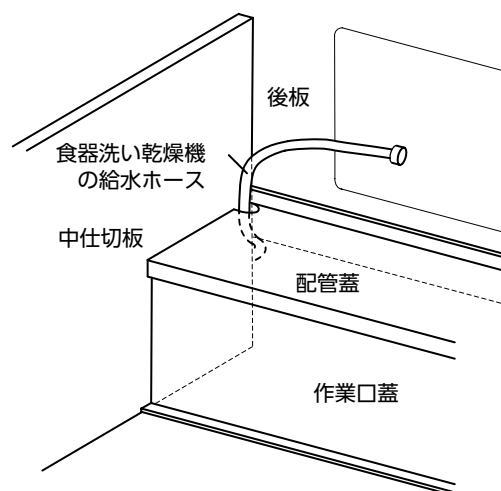
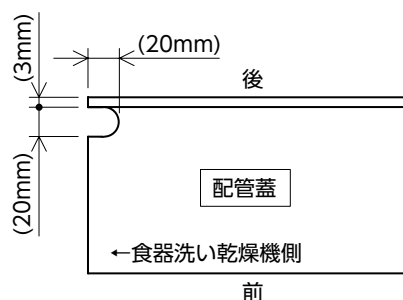


<その他の場合>  
蓋受(後)に引っ掛けて取付

## 10-3. 食器洗い乾燥機の給水ホース用の配管蓋の加工

シンク下食洗タイプの場合は、配管蓋に食器洗い乾燥機の給水ホース用の切欠きを加工してください。

給水ホースは中仕切板の後を通して庫内に引き込み、配管蓋を取付ける際に切欠きを通してください。



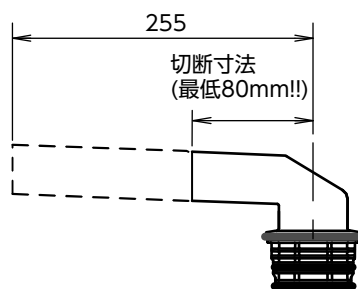
## 11. 排水部品の取付

### 11-1. 排水エルボの切断

排水エルボを所定の長さに切断してください。

切断寸法はキャビネットやシンクの種類によって異なりますので、注意してください。

キャビネット	切断寸法	
	排水腕部一体形状	排水腕部別形状
F-RN ~	190	80
F-RR ~	210	175



#### 注 意

- 排水管の位置が標準配管と異なり、その排水管の位置に合わせて排水蓋に穴を加工した場合は、排水エルボの切断は現場合わせて行ってください。
- 切断寸法は、最低80mmとしてください。80mmより短くするとエルボの抜けや、漏水の原因となります。

## 11-2. 排水器具・排水エルボ・Sトラップの取付・排水パイプの取付

- 排水栓と排水口の取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。

**注意** 排水栓と排水口の取付部に異物が残っていると水漏れのおそれがあります。

- 排水栓に平パッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

**注意** 排水栓取付部のスキがなるべく均一になるように取付けてください。

- 排水栓をロックナットで仮固定してください。

- 排水エルボの排水栓に差し込む側に、袋ナット・スリップワッシャ・台形パッキンを差し込んでください。

**注意** 差し込む順序や台形パッキンの向きが間違っていないか確認してください。

- 排水エルボのOリングに傷や汚れの付着が無いか確認のうえ、Sトラップに差し込んでください。

**注意** B部の赤いラインが見えている場合は差し込みが不足しています。  
カチッと音がするまで、奥に差し込んでください。

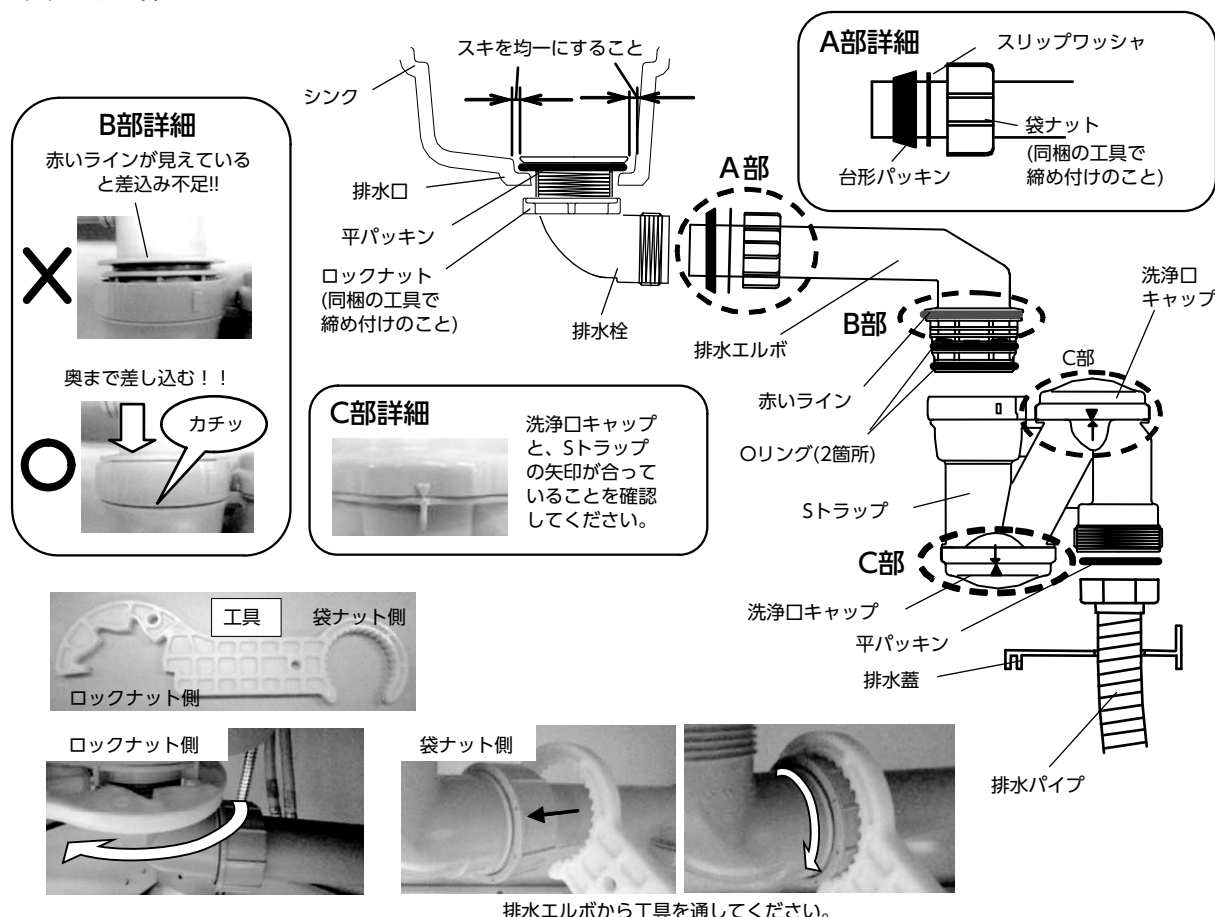
- 排水パイプを排水蓋の穴に通してください。

- 排水栓に排水エルボを接続し、Sトラップが配管蓋の穴の位置にくるように排水栓・Sトラップの向きを調整してください。

**注意** 排水エルボは排水栓の奥まで差し込み、袋ナットをしっかり締め付けてください。

- Sトラップに排水パイプを取付けてください。

- 接続完了後、＜排水栓のロックナット＞＜排水栓と排水エルボを接続している袋ナット＞を同梱している工具で増し締めしてください。



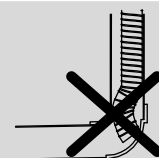
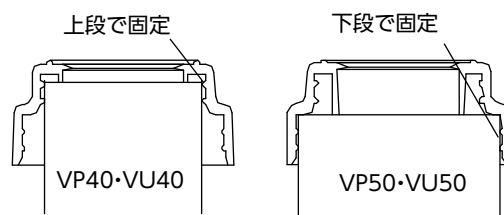
## 12. 排水管の接続

排水管の接続工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。  
防臭キャップは、VP40・VU40・VP50・VU50に対応しています。

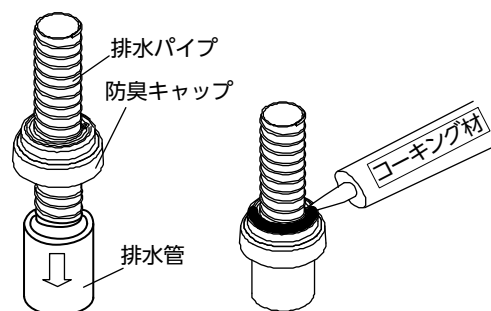
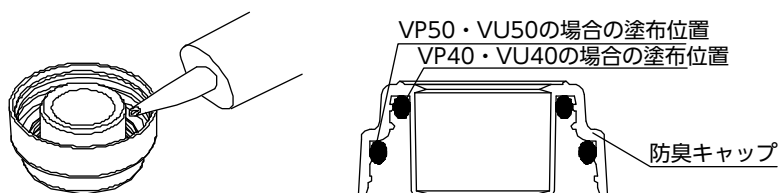
- 1 排水パイプを底板排水蓋に通し、防臭キャップを排水パイプに取付けて、排水管の位置確認を行い、排水の長さを調節してください。排水ホースが長い場合は、必ず切断してください。

### 注意

- 排水パイプを長いまま差し込むと、排水不良の原因になります。
- 直管配管の場合は、トラップより先は現場手配の部品で接続してください。



- 2 設置時にシールできるように、防臭キャップ内面全周にシリコン等のコーキング材を塗布してください。
- 3 立ち上がっている排水管(塩ビ管)に上から被せてください。



## 13. 給水・給湯管と水栓の接続

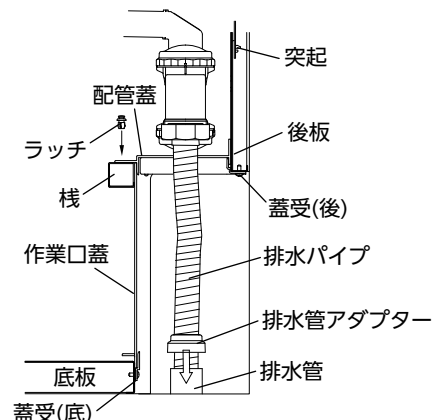
接続工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。  
接続工事は水栓の取付説明書にしたがって行ってください。  
全ての接続工事が終わったら、蓋の突起で蓋を取付けてください。

### 注意

点検口蓋・作業口蓋が蓋の突起でキャビネットに取付けられている場合は、P.28ページを参照してはってください。

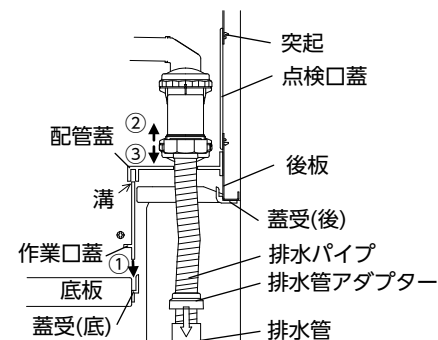
### F-RN ~ 120 ~の場合

- 1 作業口蓋を蓋受(底)に差し込む。
- 2 配管蓋を少し持ち上げる。
- 3 作業口蓋を配管蓋の溝に差し込みながら、配管蓋の後部を蓋受(後)に差し込む。
- 4 配管蓋をラッチで棧に固定する。



### その他の場合

- 1 作業口蓋を蓋受(底)に差し込む。
- 2 配管蓋を少し持ち上げる。
- 3 作業口蓋を配管蓋の溝に差し込みながら、配管蓋の後部を蓋受(後)に差し込む。



<その他の場合>

## 14. エンドパネルの取付

### 奥行60cmフロアキャビネット以外の場合

シンクキャビネットに付属のエンドパネル設置説明書にしたがって行ってください。

### 奥行60cmフロアキャビネットの場合

- 1 EPモールにEPキャップをはめ込んでください。
- 2 EPモールをパネル表面にあてがい、EPキャップをネジで固定してください。

#### 注意

EPモールの固定ネジは、「ネジだけの小袋」に入っています。また、2種類のネジを使い分けて固定しますので、正しいネジを使用してください。ネジ種類を間違えると、EPモールを貫通したり、固定が不十分になります。

＜EPモールの固定に使用するネジ＞

※ネジだけの小袋入り



トラスタッピンネジ  
4×10 (先平)



ドリルネジ  
4×10

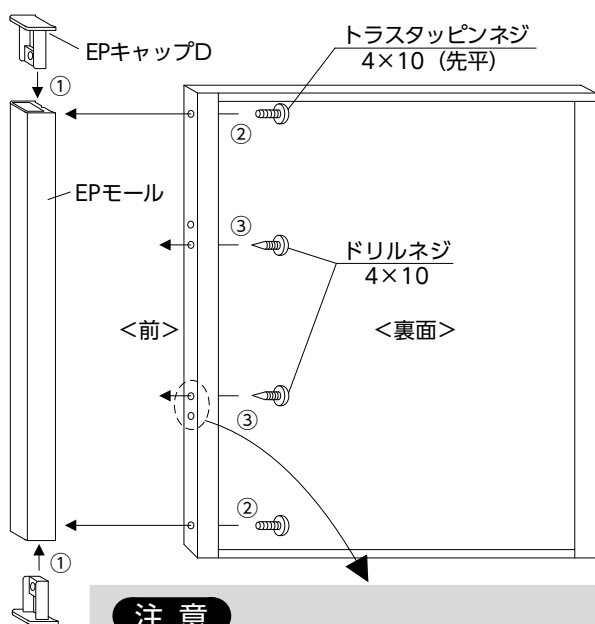


トラスタッピンネジ  
4×8 (先割れ)

- 3 EPモールの上下位置を調整後、中央部をドリルネジで固定してください。
- 4 EP固定枠をパネルの前後に下合わせで挿入してください。

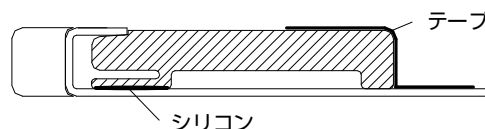
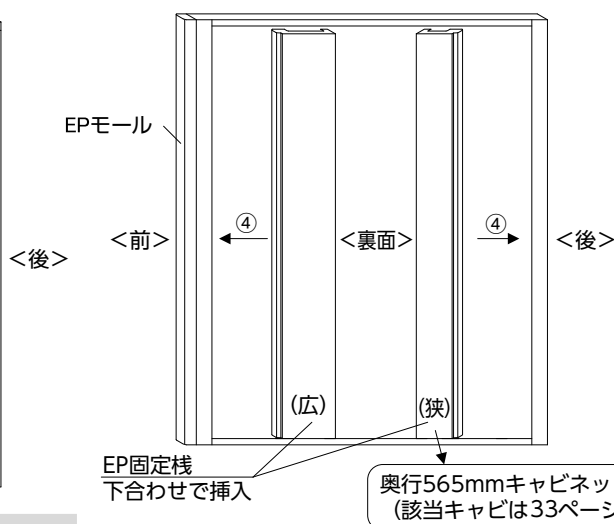
#### 注意

- EP固定枠は、幅の広いほうを前側に挿入してください。
- 後側のEP固定枠は、奥行565mmキャビネットの場合のみ挿入してください。
- 勘合が甘くてガタつく場合は、シリコンまたはテープで固定してください。



#### 注意

2個の穴が3cm間隔で開いている箇所はネジ打ちの間隔がより均等になる側の穴から、1箇所のみを固定してください。



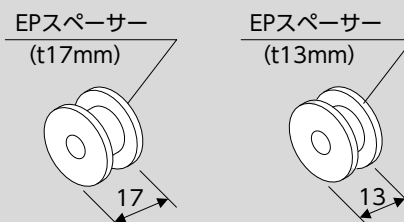


## 5 キャビネットの固定箇所に合わせて、EPスペーサーを貼付けてください。

### 注意

EPスペーサーは「t17mm」と「t13mm」の2種類あります。  
固定箇所に合わせて貼付けてください。

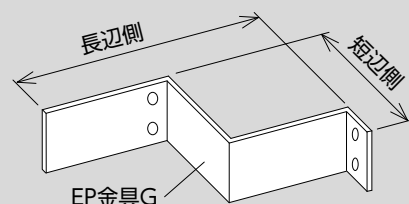
- 側板厚み 20mm : t17mm
- 側板厚み 15mm : t13mm (下図の※印の固定箇所)



## 6 奥行565mm以外のキャビネットの場合は、EP金具Gをキャビネットの後板にネジが軽くかかる程度に仮固定してください。(上下2ヶ所)

### 注意

- EP金具Gは2方向に取付が可能です。  
取付方向に注意してください。
- 奥行565mm以外のキャビネットにエンドパネルを取付ける場合は、別途「EP-XGNカナグセット」が必要です。  
EP金具G等はカナグセットに同梱されています。



奥行565mmキャビネット		
<p>&lt;F-RN~&gt; 565</p>	<p>&lt;F-RR~ (引出側) &gt; 565</p>	<p>&lt;F-RR~ (食洗側) &gt; 565</p>
奥行516mmキャビネット	奥行473mmキャビネット	
<p>&lt;F-KEVY~&gt; 516</p>	<p>&lt;F-TFVZ~&gt; 473</p>	<p>&lt;F-KTVZ~&gt; 516 小引出し</p>

# 設置方法

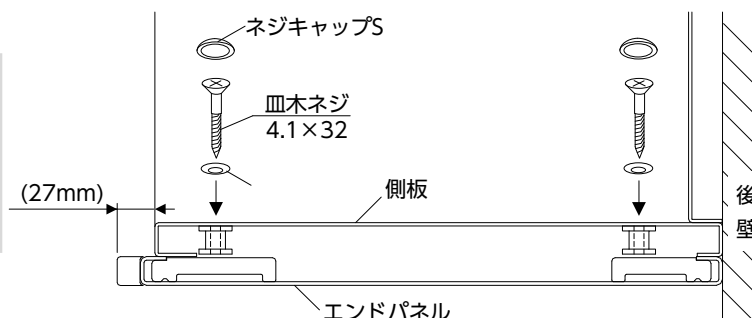
## 7 以下を参照してエンドパネルをキャビネットに取付けてください。

### 奥行565mmのキャビネットの場合

エンドパネルを奥壁に押しつけながら、ネジで固定してください。  
(エンドパネルの出代は27mm)

#### 注意

固定ネジは32mmと27mmの2種類同梱されています。  
27mmを使用すると固定が不十分になりますので、必ず32mmを使用してください。



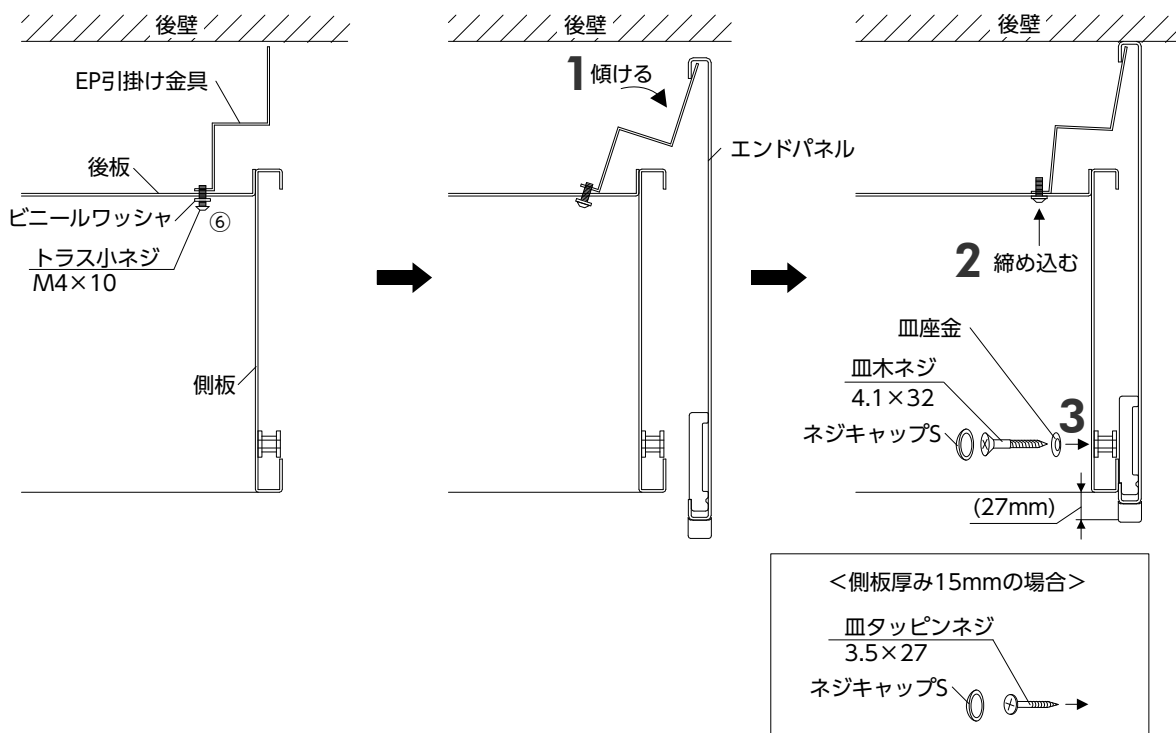
### 奥行565mm以外のキャビネットの場合

- 1 EP金具Gを傾けてエンドパネル後部に引掛けてください。
- 2 EP金具Gがはずれないように注意しながら、EP金具Gの固定ネジを完全に締め込んでください。
- 3 エンドパネルを後壁に押しけながら、ネジで固定してください。(エンドパネルの出代は27mm)

#### 注意

固定ネジは2種類同梱されています。固定箇所に合わせて使用してください。

- 側板厚み 20mm : 皿木ネジ 4.1 × 32 + 皿座金 + ネジキャップS
- 側板厚み 15mm : 皿タッピンネジ 3.5 × 27 + ネジキャップS (コンロの小引出部 : ※印の固定箇所)



## 15. 台輪カバーの取付 (台輪カバーを取付ける場合のみ)

台輪カバーの品番によって設置方法が異なります。

台輪カバー品番

P-DC\*\*\*から始まる場合：本書の説明書を参照してください。

ダイワカバー V2/V3 の場合：台輪カバーに同梱されている設置説明書を参照してください。

### 注意

本製品には小さなネオジウム磁石が同梱しています。誤って現場に残されると、幼児の誤飲につながるおそれがあります。そのため数量の管理については慎重にお願いします。

### 15-1. 同梱部品の確認

#### 同梱部品

台輪カバー	サイド キャップ	ツナギ キャップ	磁石	設置 説明書
				
1 ※1	L/R各1 ※2	1 ※2	右表参照	1

※1 製品によって長さが異なります。

コーナー用は2枚入りです。

※2 部品にあまりが発生します。不要分は廃棄してください。

#### 磁石の数量

P-DC[間口]-5 の場合

間口	015~045	060	073・075 090C・105C	088・090	105・120
数量	4	6	8	10	12

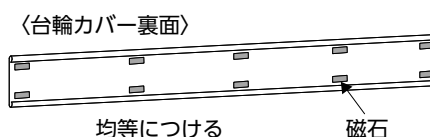
### 15-2. 台輪カバーの仮固定・間口確認

- 各キャビネットの間口よりも約5mm長さが短い台輪カバーがあるか確認してください。  
※隣接するキャビネットとの合計間口が1200mm以下の場合、1本の台輪カバーで対応する場合があります。詳しくはS-TOPの図面を確認してください。
- 台輪カバーをキャビネットへ仮固定し、キャビネットと台輪カバーの総間口がっているかを確認してください。

#### 仮固定手順

##### ①台輪カバーに磁石を均等につける。

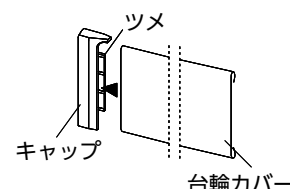
※コーナー用は磁石を2枚の台輪カバーに分けてつけてください。



##### ②台輪カバーの端部にキャップを差し込む。

各キャップの取付位置は[図 15-1]参照。

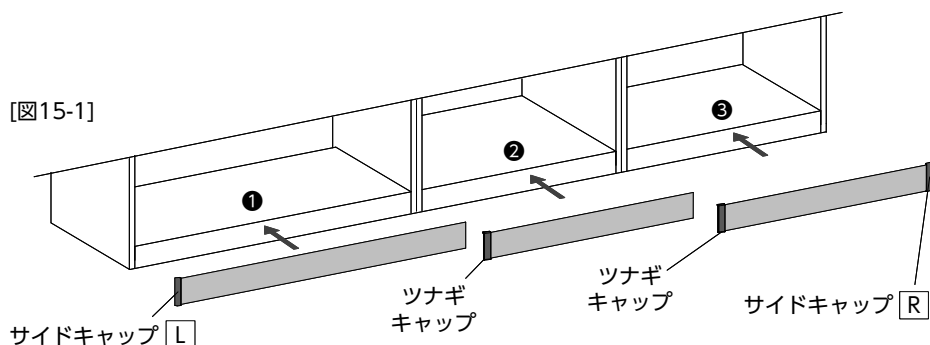
※キャップは「15-5. 台輪カバーの取付け」でシリコンにて本固定します。



③図15-1の①→②→③…の順番に台輪カバーを取付ける。

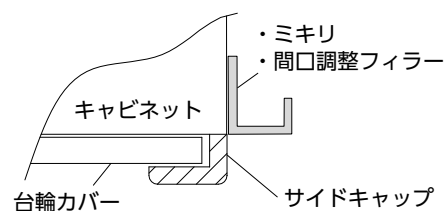
※エンドにフィラーやエンドカバーがある場合は下記を参照。

**注意** キャップにツメがあるため、順番を間違えると台輪カバーの取付けができなくなります。



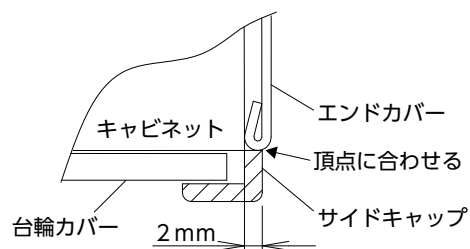
## ミキリ・フィラーがある場合

ミキリ・フィラーには設置せず、キャビネットの端面にキャップを合わせてください。



## エンドカバーがある場合

エンドカバーの頂点に合うように、サイドキャップを2mmずらして設置してください。



④最後に台輪カバーとキャップの間や壁との間に隙間が出ないように、台輪カバーの位置を微調整してください。

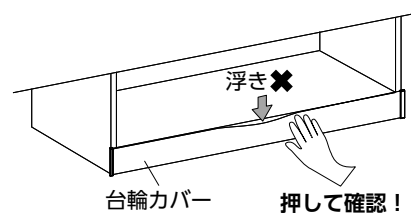
## 15-3. 台輪カバーの浮きの確認

**1** 台輪カバーがキャビネットから浮いていないか、手で押しながらか確認してください。

手で奥に押せて、手をはなすと戻ってくる箇所は台輪カバーが浮いています。

**2** 1で浮きがない場合は「15-5. 台輪カバーの取付け」に進んでください。

浮きがある場合は台輪カバーを一度取りはずして「15-4. 台輪カバーの浮きの改善」を行ってください。



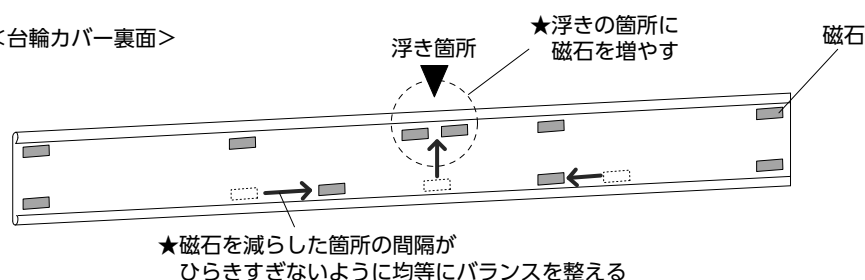
## 15-4. 台輪カバーの浮きの改善(15-3.で浮きがある場合のみ)

- 1 磁石がずれて台輪カバーの曲げに乗り上げていないか確認してください。

乗り上げている場合は、曲げの内側になるように位置を調整してください。

- 2 全体のバランスを見ながら、浮きがなかった箇所の磁石の位置をずらして、浮きが発生している箇所の磁石の数を増やしてください。

<台輪カバー裏面>



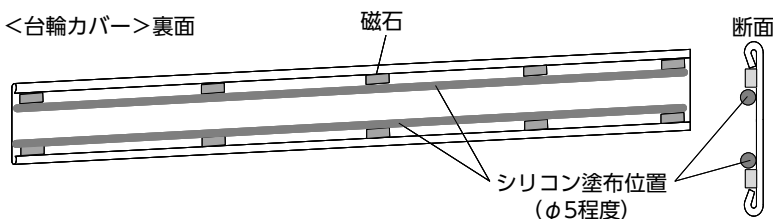
- 3 磁石の位置を調整後、再設置して浮きがないことを確認してください。

## 15-5. 台輪カバーの取付け

- 1 台輪カバーとキャップをキャビネットから取りはずして、シリコンを塗布します。

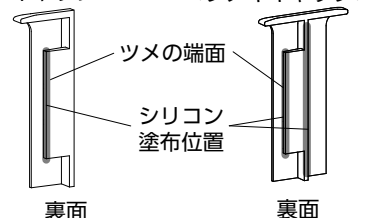
**注意** 磁石がずれたり、はずれている場合は、「15-2. 台輪カバーの仮固定・間口確認」と「15-3. 台輪カバーの浮きの確認」で確認した位置に磁石を戻してください。

<台輪カバー>裏面



<サイドキャップ>

<ツナギキャップ>



- 2 サイドキャップとツナギキャップを台輪カバーに取付けてください。

取付位置は「15-2. 台輪カバーの仮固定・間口確認」と同様です。

- 3 「15-2. 台輪カバーの仮固定・間口確認」と同様の順番で台輪カバーをキャビネットに取付けてください。

**注意** キャップにツメがあるため、順番を間違えると台輪カバーの取付けができなくなります。必ず「15-2. 台輪カバーの仮固定・間口確認」の取付け順番を確認して取付けてください。

## 16. その他部品の取付

### 16-1. 包丁差

#### かくせるホーローボックスタイプの場合

かくせるホーローボックスタイプは、引出間口105cm以外は扉裏面に付けて出荷されていますので、取付は不要です。

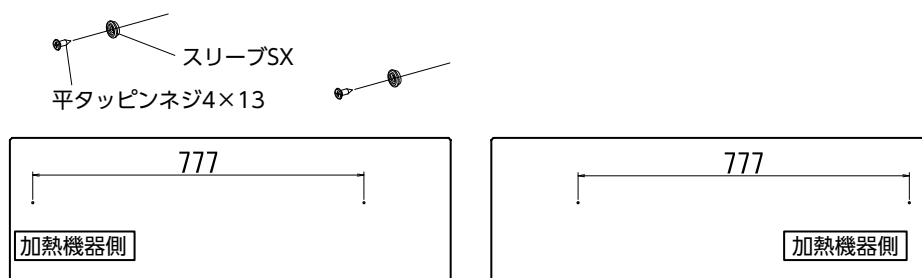
包丁差の取付に使用しない扉裏面の取付穴には、穴シール（直径12mm）を貼付けてください。

#### ■ 引出間口105cmの場合

##### 1 スリーブSXの取付

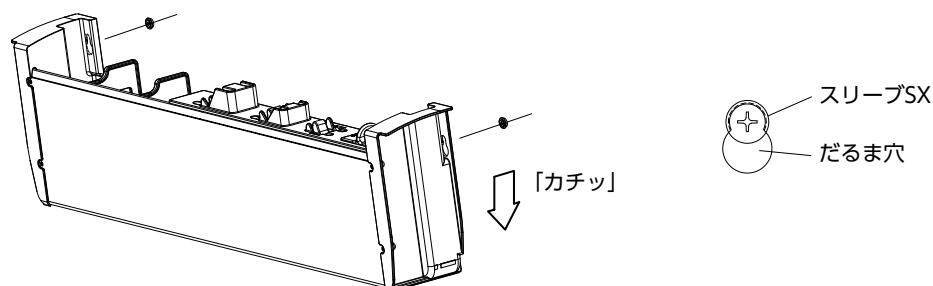
スリーブSXを扉裏板にネジで取付けてください。

取付穴は加熱機器側に777mmピッチで空いている穴を使用します。



##### 2 かくせるホーローボックスの取付

かくせるホーローボックスのダルマ穴にスリーブSXを差し込んで、「カチッ」と音が鳴るまで降ろしてください。



##### 3 穴キャップの取付

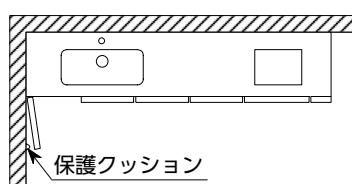
包丁差の取付に使用しない扉裏板の取付穴には、穴シール（直径12mm）を貼りつけてください。

#### かくせるホーローボックスタイプ以外の場合

かくせるホーローボックスタイプ以外の包丁差は扉裏面に付けて出荷されていますので、取付は不要です。

### 16-2. 保護クッション

扉および引手が隣接する壁等に当たる場合は、保護クッションを当たる部分に貼付けてください。



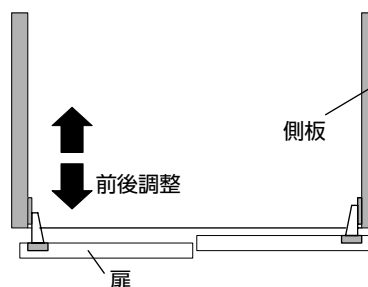
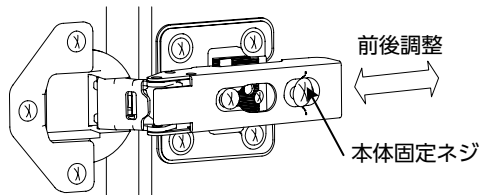
## 17. 扉の調整

扉の傾き、段違いが発生した場合は、次の手順で調整してください。

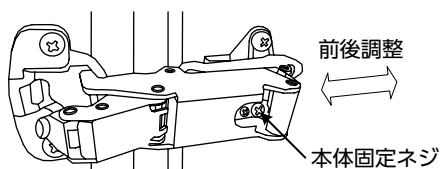
### 17-1. 開き扉

#### 扉の前後調整

本体固定ネジを緩め、丁番を移動させて前後調整してください。  
調整後は必ず本体固定ネジを締め直してください。

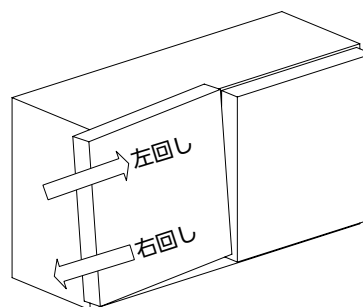
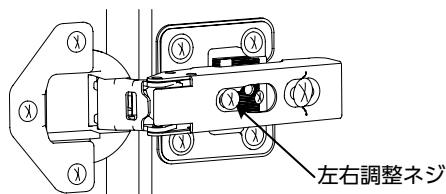


#### コーナーキャビネットの扉の場合

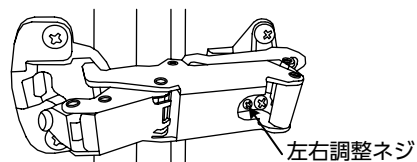


#### 扉の左右調整

左右調整ネジを回して左右調整してください。  
調整後、本体固定ネジが緩む場合があるので、必ず本体固定ネジを締め直してください。

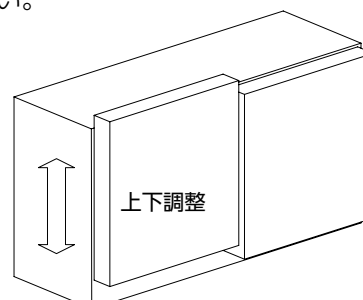
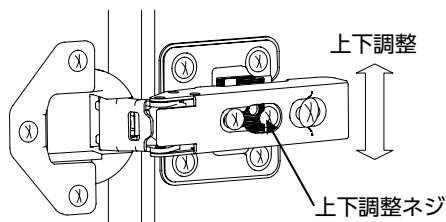


#### コーナーキャビネットの扉の場合



#### 扉の上下調整

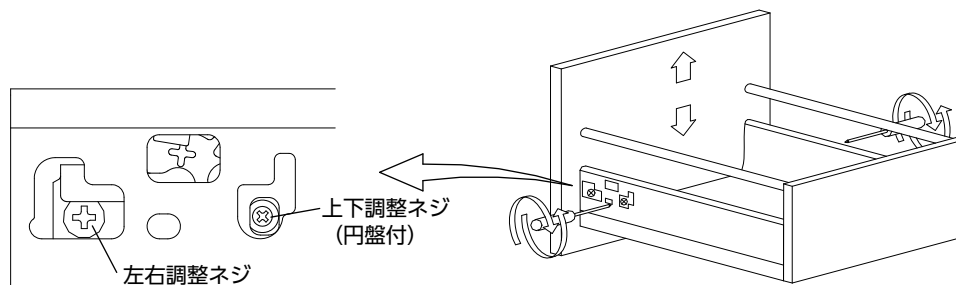
上下調整ネジを緩め、丁番を移動させて上下調整してください。  
調整後は必ず上下調整ネジを締め直してください。



## 17-2. 引出の場合

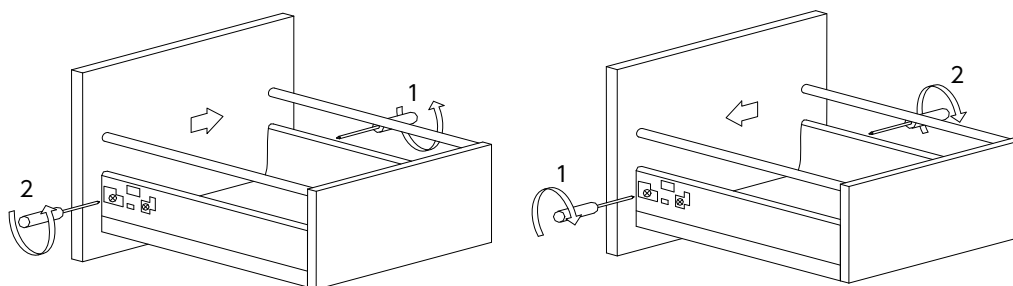
### 上下調整

図のように上下調整ネジをまわすことにより、扉を上下に調整できます。



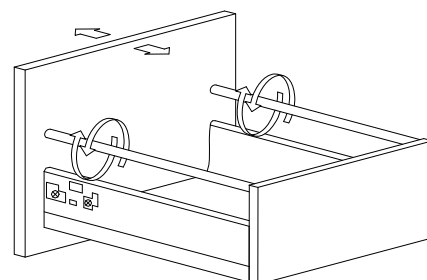
### 左右調整

図の手順にしたがって左右調整ネジをまわすことにより、扉を左右に調整できます。



### 傾き調整

図のように両サイドのバーをまわすことにより、扉の傾きを調整できます。



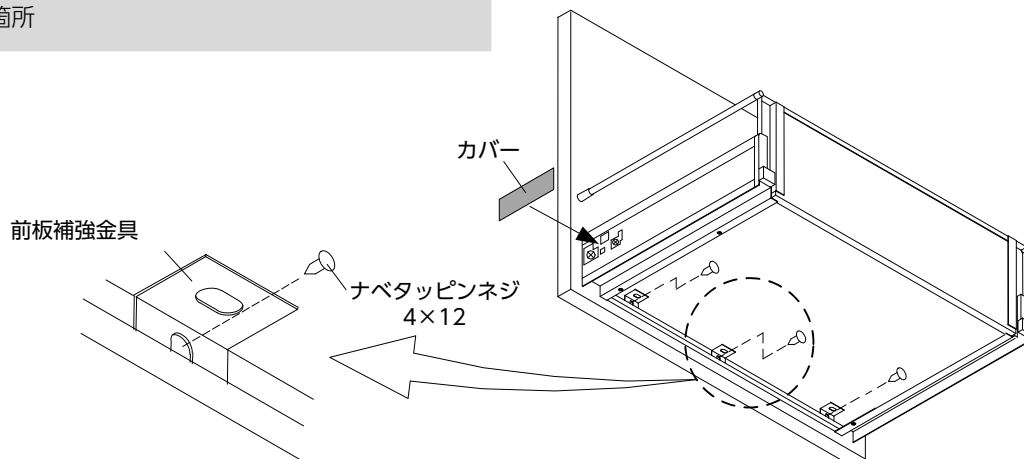
### 仕上げ

各調整終了後、調整ネジ部にカバーを取付け、引出裏面より前板固定金具を用いてネジで固定してください。

#### 注意

固定箇所は扉の高さによって変わります。

- 扉高さ 450mm以上:3箇所
- 扉高さ 450mm未満:1箇所

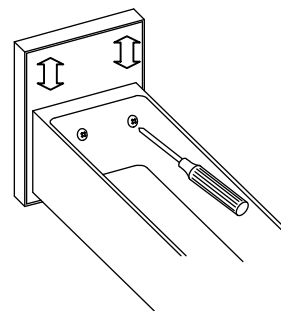




### 17-3. コンロ横15小引出の場合

#### 上下調整

ネジを緩めることにより上下に動きます。  
調整後、必ずネジを締め直してください。



## コーキング処理

ワークトップ周囲等、必要と思われる部分を防カビタイプのシリコンでコーキング処理してください。  
ワークトップ・キャビネット用のシリコンが設置現場に納品されている場合は、優先順位と下図を参照してシリコンを使い分けてください。

※キャビネット・ワークトップ用はシリコン単体で納品、K P用はパネルセコウキットに同梱

### シリコン色

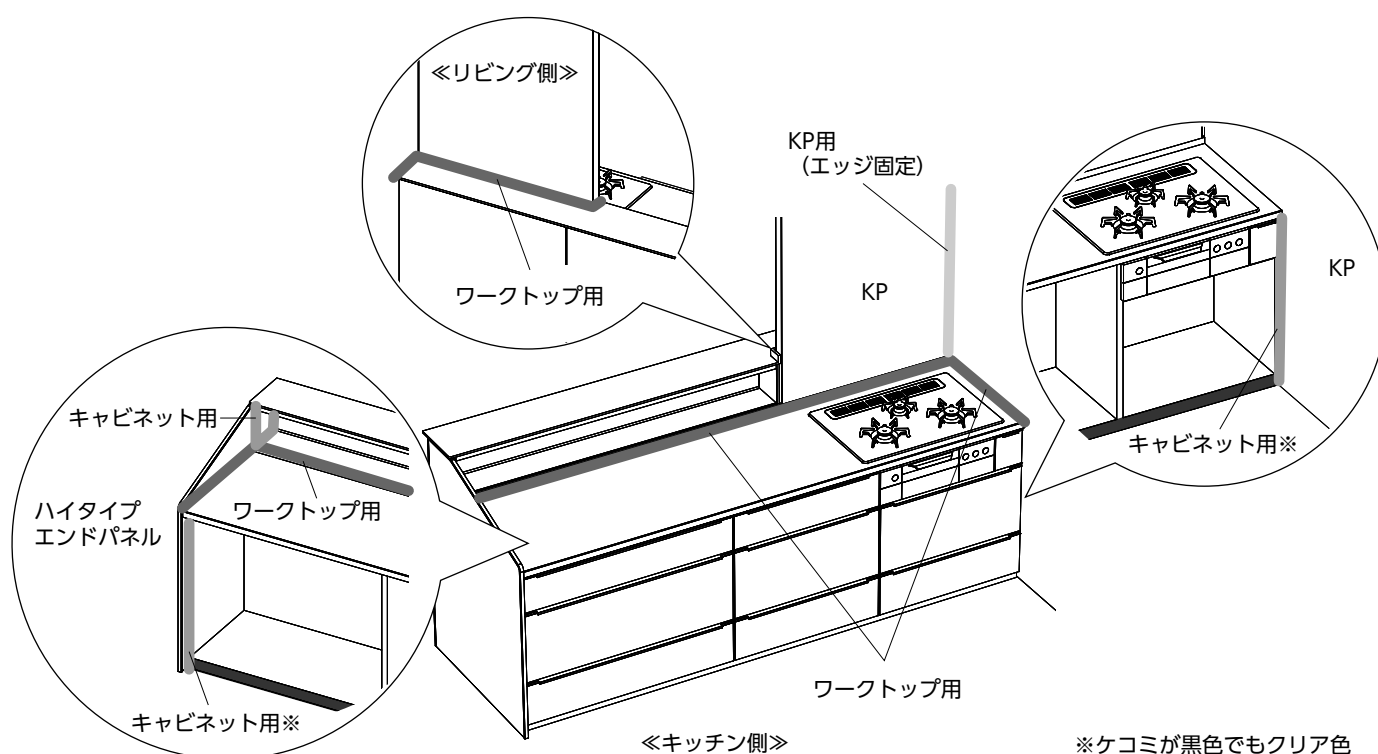
- キャビネット用：クリア
- ワークトップ用：6色(ホワイト／アイボリー／グレー／アンバー(茶色)／ブラック／クリア)の近似色  
※ステンレス製ワークトップのシリコンはクリア色ですが、周辺カウンターは人大・メラミン製となるため、シリコン色がワークトップと周辺カウンターで異なる場合があります。

シリコン色の優先順位：ワークトップ>キャビネット>K P

〈例〉・キャビネット：白キャビ →コーキング色：クリア  
・ワークトップ：ソリッドライトグレー →コーキング色：グレー  
・K P ：パールホワイト →コーキング色：ホワイト(パネルセコウキットに同梱)

### 【シリコン色対応表】

	ワークトップ	キャビネット (マルチ収納内を含む)	KP
ワークトップ	ワークトップ用 [グレー]	ワークトップ用 [グレー]	ワークトップ用 [グレー]
キャビネット (マルチ収納内を含む)	ワークトップ用 [グレー]	キャビ用 [クリア]	キャビ用 [クリア]
KP	ワークトップ用 [グレー]	キャビ用 [クリア]	KP用 [ホワイト]

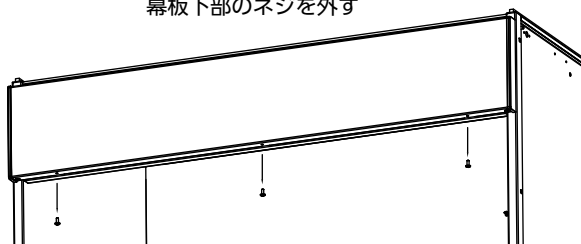


※ケコミが黒色でもクリア色

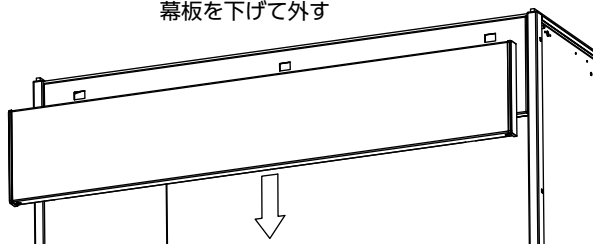
なお、シンクキャビネットの幕板横や15調理キャビネットの飾板横がコーキング処理しにくい場合、幕板（飾板）をはずして処理し、その後幕板（飾板）を取付けてください。

## 幕板の外し方

幕板下部のネジを外す



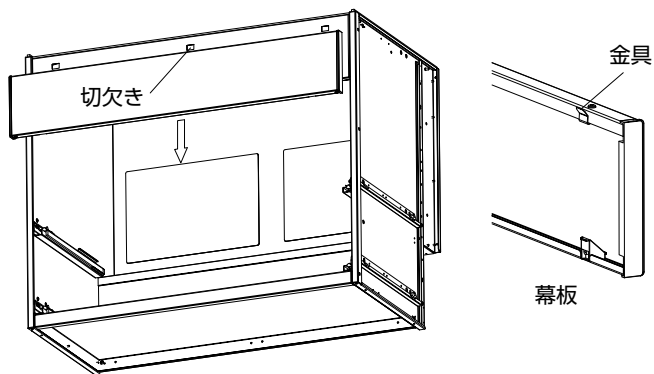
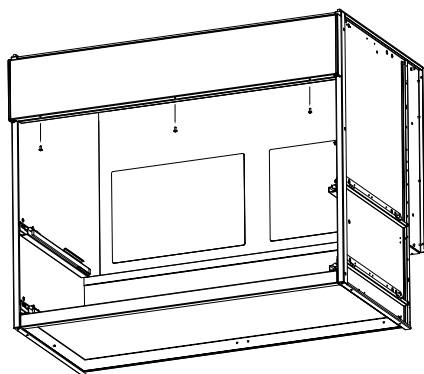
幕板を下げて外す



## シンクキャビネットの幕板の場合

### ■ 取りはずしかた

- 1 幕板下部のネジをはずす。
- 2 幕板上部の金具がキャビネットの切欠きから外れる位置まで幕板を下げる。



### ■ 取り付けかた

- 1 幕板上部の金具をキャビネットの切欠きに差し込み、上げる。
- 2 幕板下部のネジを固定する。

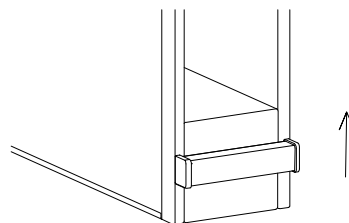
## 15調理/コーナーキャビネットの飾板の場合

### ■ 取りはずしかた

飾板を上を引き上げてください。

### 注意

飾板の嵌合が固い場合に、飾板が取りはずしにくいことがあります。

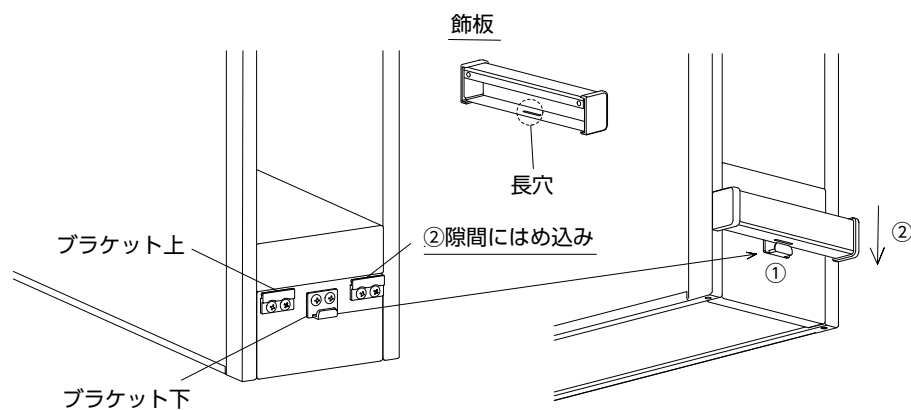


## ■ 取り付けかた

- 1 飾板底面の長穴をブラケット下に差し込む。
- 2 飾板を下に押して、ブラケット上の隙間に飾板の曲げを差し込む。

### 注 意

しっかりと下まではめ込めたか確認をしてください。



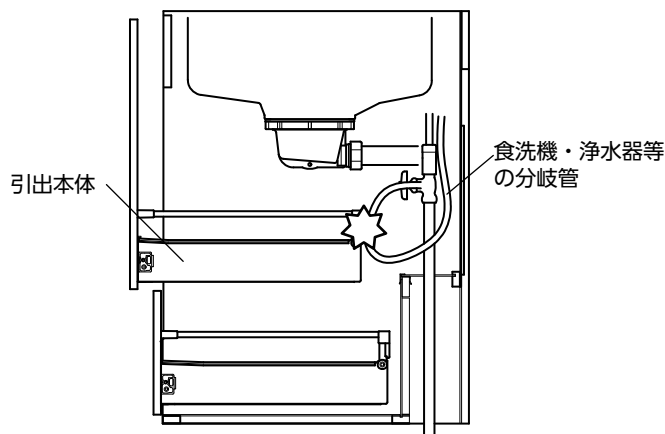
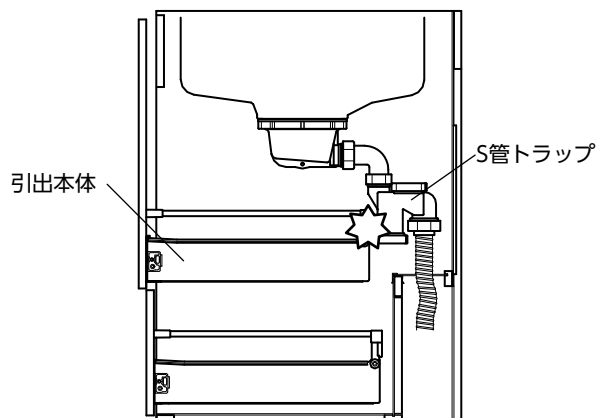
## 清掃

ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとってください。  
洗剤を使用した場合は、必ず水拭き、空拭きを行い洗剤が残らないように注意してください。

## 安全点検

下記の項目に従い、仕上がりをチェックしてください。

チェック	チェック項目	チェック
ユニット	各ユニットの連結は確実に行われているか	
	壁面との固定は確実に行われているか	
	ユニット内に傷、汚れ、残材はないか	
天板	ワークトップ表面に傷、汚れはないか	
	ワークトップの水平はよいか	
扉・引出し	扉の傾き、がたつきや丁番のゆるみはないか	
	扉の丁番は確実にセットされているか	
	扉・引出し前板の調整はできているか	
	扉・部材に貼られている保護シートははがしてあるか	
排水	排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れはないか	
	S管トラップおよび、食洗機・浄水器等の分岐管と引出本体が接触していないか ※干渉している場合は、配管の位置を調整して、引出本体と接触しないようにする	
	防臭キャップは確実に排水管に固定されているか	
	排水トラップのエルボは確実に差し込まれているか	
	エルボの台形パッキンの向きは間違っていないか	
水栓	水栓金具は確実に固定されているか	
	水栓金具のレバー、ハンドルのぐらつきなどはないか	
	吐水口のぐらつきなどはないか	
シンク	シンク表面に傷・汚れはないか	
	シンクに水滴はないか ※排水の水漏れ確認や水栓金具の通水確認後は水滴が残らないよう必ずふきとること	
フード	レンジフードが正常に作動するか	
	照明は点灯するか	
加熱機器	機器の作動は正常か	
	ガス種は合っているか	
	ガス元栓はついているか	
資料	取扱説明書はお客様の目につきやすい場所に置いてあるか。(引出しの最上段など)	
	電気工事・配管工事を行う商品の取付説明書は、取付事業者が目につきやすい場所に置いてあるか	
養生	養生されているか ※内装工事が続いて行われるときや、引渡しまでに日数があるときは、必ず養生のこと	



## 組込機器の試運転

キッチンに組込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順にしたがって正常に作動することを確認してください。

## 商品の養生

すべての設置が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

## 取扱説明書の保管・引渡し

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書はとりまとめて、キャビネットの引出しに収納しお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

本設置説明書に関しても、次工程および保守等に必要な場合がありますので、取扱説明書と同様に保管ください。

## 梱包材その他設置部材の処理

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。



# タカラスタダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

セツセツメシヨSK60(V)-2

3H-1



\* 1 4 8 8 6 9 6 7 \*